京城日報

本紙定價 一箇月 七十五錢
發行兼編輯人 奧田直[illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

十一月廿四日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇使節一行中に經濟學者を加へよ 某國際法學者顧問決定

講和會議に特派せらるべき使節の一行中には斯學の權威たる某國際法學者顧問の資格を以て參加のことに決定せりと聞す而して一行の顧問中軍人側のみ威容堂々たるは感心すべきことに非ず夫よりも寧ろ此の世界的大事件に對する帝國の態度としては聯合各國に對して大勢に遲れざる用意あらまほしく勿論此の場合經濟學者は顧慮すべきに非ず專門學者就中經濟學者を一行中に加ふるは最も緊要のことにして斯かる千載一遇の機會に遇し最も意義ある活動を爲さんと欲せば當局に於ても十分意を茲に用ふるの要あり今にして只一人の國際法學者を講和使節一行中に加へんとするが如きは手緩き限りにして特に各方面に亘りて專門家を選定すべしとの說有力者間に傳へられ居れり（東京特電）

◇勞兵會ヒ將軍掩護

アムステルダム來電＝獨逸勞兵會はヒンデンブルグ元帥を掩護すべき旨宣言し且つ曰く將軍は吾人獨逸民族の將軍にして將軍は今日迄吾人と親密を絕ちしこと無しと（東京特電）

◇獨逸戰爭損失高

コペンハーゲン來電＝獨逸の大戰に依る損失は死者百五十八萬人行方不明二十六萬人捕虜四十九萬人にして負傷者は未だ發表せられざるも四百萬人に上るならんと推せらる（東京特電）

◇ブ市彈藥爆發

ブラッセル來電＝獨逸軍は十七日午前四時より同七時迄にブラッセルを引揚げ市民は行列を爲して市中を練り歩きたるが同日正午三箇所に於て彈藥一齊に爆發して市中を震動し家屋を破壞し多數の死傷者を出し同時に火災起り夜に入るも鎭火せず（東京特電）

◇ホ將軍閣員釋放要求 チタ、オムスク間交通杜絕

哈爾賓來電＝目下チタに在るセミョノフ將軍は新任オムスク執政官コルチャック提督に對しアウクセンチエフ以下の閣員を釋放せんことを求めたり尙ほチタ、オムスク間の交通機關はセミョノフ將軍の命に依りて杜絕され人心恟々たり（東京特電）

◇特派大使不日決定

講和會議に對する陸海軍側委員は既に內定せるも特派全權大使の人選未決定なる爲め從つて其出發期も不明なるが特派全權大使は四五日中に決定の筈なれば右決定次第本月末若くは來月早々出發の豫定なりと（東京特電）

◇園侯外相協議

西園寺侯は廿三日午前駿河臺の自邸を出で東京ホテルに入りたるが同九時十分內田外相の來訪あり講和問題其他に關し約一時間協議する所ありたり（東京特電）

◎金融組合聯合會認可 ＝役員任命發表＝

地方農民の金融を緩和し其の經濟の發達を企圖する趣旨に基き明治四十年以來各地に地方金融組合を設置し來りしが（每年二三十箇所增設）之が利用を農民のみに限らず廣く一般農商工者の金融機關として可及的に發達を圖る目的にて襲に金融組合令の改正を見たるが右組合令改正に伴ひ各道內の金融組合を統一し相互の

▲連絡を圖り 資金の操縱を爲すと共に從前の監督が官廳直接にて常に消極的となり金融の圓滑を期し難き弊に鑑み各道に一箇所宛の元締となる可き金融組合聯合會を設置する事となれるが愈々各道に於て之が設立準備を進め設立認可の申請を總督府に提出中なりしが愈十五日より一週間の間に於て全部認可せられ指令の交付を見同時に左の通り總督より役員の任命ありたり

京畿道第二部長 松本誠　京畿道金融組合聯合會理事長を命ず
京畿道高陽金融組合理事 片岡介三郎　同聯合會理事を命ず
忠淸北道第二部長 井上主計　忠淸北道金融組合聯合會理事長を命ず
忠北淸州金融組合理事 齋藤淸治　同聯合會理事を命ず
忠淸南道第二部長 井上淸　忠淸南道金融組合聯合會理事長を命ず
忠南鴻山金融組合理事 小野脩徹　同聯合會理事を命ず
全羅北道第二部長 佐々木志賀二　全羅北道金融組合聯合會理事長を命ず
全北茂朱金融組合理事 村松保度　同聯合會理事を命ず
全羅南道第二部長 高武公美　全羅南道金融組合聯合會理事長を命ず
全南羅州金融組合理事 小林省三　同聯合會理事を命ず
慶尙北道第二部長 大賀米三郎　慶尙北道金融組合聯合會理事長を命ず
慶北大邱金融組合理事 藤本周三　同聯合會理事を命ず
慶尙南道第二部長 橫井二郎　慶尙南道金融組合聯合會理事長を命ず
慶南釜山金融組合理事 遠藤與七郎　同聯合會理事を命ず
黃海道第二部長 尾崎虎一　黃海道金融組合聯合會理事長を命ず
黃海道延安金融組合理事 滑川秀三　同聯合會理事を命ず
平安南道第二部長 富永一三　平安南道金融組合聯合會理事長を命ず
平南价川金融組合理事 佐藤長五郎　同聯合會理事を命ず
平安北道第二部長 小松淺五郎　平安北道金融組合聯合會理事長を命ず
平北泰川金融組合理事 河合作次郎　同聯合會理事を命ず
江原道第二部長 宮崎又治郎　江原道金融組合聯合會理事長を命ず
江原道原州金融組合理事 牟田口利彥　同聯合會理事を命ず
咸鏡南道第二部長 佐藤榮三　咸鏡南道金融組合聯合會理事長を命ず
咸南文川金融組合理事 飯田國夫　同聯合會理事を命ず
咸鏡北道第二部長 山崎眞雄　咸鏡北道金融組合聯合會理事長を命ず
咸北城津金融組合理事 谷口善四郎　同聯合會理事を命ず

▲聯合會資金 として各聯合會は各道々廳所在地に設くる事とし認可と共に創立總會を開き聯合會員中より監事の互選を爲し決定するに至らば五萬圓宛全道にて六十五萬圓は總督府より支出交付する事となり一方殖產銀行とも連絡を執り所屬組合資金操縱の任に當る事となり居れり

◎事業界の前途 ＝敢て悲觀を要せず＝ 川上東拓理事談

廿三日夜東京より歸來せし川上東拓理事の談に曰く休戰條約も出來講和は近く成立するであらうが、平和を迎へたからとて既に警戒を續けて來てはゐるし、北鐵も確乎に出來たのであるから吾が事業界が直ちに打擊を受けるやうの事はなからう、殊に

▲確實な大資本 の事業は何等前途を悲觀する必要はないと思はるる、世上多くの人は今回の大戰爭で列强の費した戰費は數千億圓の多額に達することで恰もその金が戰爭のために消ねて了ひるかのやうに云ふが、事實列强の國家は戰時的公債の增發や不換紙幣の發行により巨額の債務を負つてゐるに相違ない、然し乍らその巨額の軍費は恐く鐵砲や大砲の丸となつて消ねて失つた譯でなく大部分國民の手に移つてゐるのである、乃ち國家の經濟と個人の經濟は全く違ふ、個人は國家が大戰爭により非常に

▲多額の債務 を負へるだけそれだけ色々の收入增となつて富んでゐる譯である、從つて講和となれば戰時に抑制した富んだ個人の贅澤は一時に發し、食料品の制限は解かるゝし、或る種の事業は爆發的の好況を呈するかも知れぬ、素より軍需關係事業等には不況に陷るものも出で、來るではあらうが、然も日本の事業界も俄に前途を悲觀するに當らぬ

▲滿蒙毛織 日本も民間の富力增進は偉大なるものがある、而してそれらの利得者は平和來後の確實な投資を大いに歡迎せるやの風がある、東拓の關係せる滿蒙毛織會社の株式が非常の盛況を以て迎へられた如きは正にその一面を語つてゐるものと稱して可なり、滿蒙毛織も設立後二年目の後半には製品を市場に供給し得る計畫である、諸機械類は急速間に合ふ仕組となつてゐる、又滿蒙の羊毛生產は莫大なもので、到底その全量を集むれば滿蒙毛織一社位で消化し得られるものでない、然し乍ら毛質に若干の缺點あり、良毛の交織を必要とするため、それらの良毛は輸入せねばなるまい

▲東拓と諸事業 東拓が主となりて計畫中の平壤モンド瓦斯事業も遠からず著手し得るやうにすべての事は進捗してゐる、それに山內鑛業に就ては殆ど諸事に時日を以てせられたいが、東拓の直營でなく一會社の新設をなす事とするつもりである、以上の外調査計畫中の鮮內諸事業は頗る多い、何れも今後漸次頭を出さしむる譯である

◎當面の諸問題 石炭の輸送は事缺かす 久保滿鐵理事談

大連本社に出向中なりし久保滿鐵京管局長は廿四日朝歸京せりその談に曰く

▲特別輸送影響 軍隊の特別輸送は國家のためであるから素より鐵道としては如何なる犧牲を拂つても遂行せねばならぬが、九月の大輸送而して又今回の歸還兵輸送で滿洲線も朝鮮線も輸送力に可なり影響を受くる、今回の輸送は兵數も少ないし、朝鮮線では前回の輸送に滿洲線より機關車六輛を借りたまゝになつてゐるし、旁々京義線の旅客列車と京元湖南兩線の數列車を取消す位で幸ひ貨物列車を減ずるに及ばぬけれど滿洲線では貨物列車五列車を取消してゐる狀況である

▲石炭の輸送 輸送力減少の關係から差し向き困るのは嚴寒季に入つて需要を激增した石炭である、特別輸送のため本年の四月から十月までに輸送の豫定であつた朝鮮地貨炭並に鐵道用炭は尙ほ三萬噸ばかり送り切れずに殘つてゐる、然し此の三萬噸を當初の計畫たる陸送で撫順より朝鮮に下す事は非常困難であるから、以上の三萬噸を又復便宜上撫順より大連に送り、大連より仁川に船送するの手配りをした、船腹は大連汽船會社で引受けて吳れてゐる、かくすれば陸送より運賃は餘計に要し、實際は現在の朝鮮地貨炭を引上げねばならぬ、又引上げの論も出てゐるたが、特別輸送の關係とは云へ會社の都合で運炭方法を變へたのだから云ふので、炭價は現行の儘に据ゑておく、又前記の三萬噸を送れば今後既定計畫に伴ふ輸送も出來、朝鮮の需要炭は大なる不足はなからうと思ふ

▲改良施設 朝鮮線から滿鐵沙河口工場に註文せる機關車四輛は今回も予はその急造を催促したのであるが、十二月に入れば前後して竣成、朝鮮線に廻送することになつてゐる、又貨物輸送上の適當な施設假へば各驛に於ける倉庫の增設や京義線各驛の改築の如きは不急の仕事でないから、此の方面にも出來る限り速かに出來得る限り完全に施設をしたい方針である、實際京義線各驛の如き現在のやうな粗造では驛員の事務的能率增進にも少からぬ缺陷があるのである

▲鐵道學校 龍山に明年新設する鐵道學校は予の大連出張前京城管理局で案を立てゝゐたが今回本社の重役とも打合せをなし大體は決定した、又龍山に鐵道學校を建てると同時に大連にも新築の計畫が確立した、大連の鐵道學校は一昨年來の問題だが今日まで着手に至らずにゐたのである、尙ほ滿洲線の滯貨は朝鮮線の滯貨とは實位を異にする程多いが、穀類の出廻りは朝鮮同樣例年より餘程遲れてゐる模樣であつた

◎重石價格低落せん 米國よりアーレン氏の許へ電報

在京城ジョシ、アル、アーレン氏は最近米國より電報を受取りたるが其文意は戰爭終結の爲め重石及び其他礦類は總て四割方の暴落を來せり其暴落は其程度に止るべきか否やは未だ語る能はざるも要するに砲彈製造の停止が自然重石の需要を減ぜるに因る者なるべし其暴落は米國政府の註文に應じたる約定品は

▲其契約を保持 して物品を引取るべきも將來に於ける新註文及積送りの荷に就いては甚だ危險なるべし英佛及び合衆國間に於ても尙ほも二箇年間は重石の價格を据置にせん事を契約せんことを計りしも之れ戰爭永續を見込みたるものにて契約成立せざる內に戰爭は終結したり米國大統領は固より他國政府が團結して低價に据置にせんとするこそあれ其暴落の價格にして成立せば其時こそ朝鮮の重石一噸の代價一千五百圓以下に落るべし尙其際は鍋礦石等の不純物を含むものは無論不用に歸し而して純物を製するには從來の如く適當の機械の準備なきに於ては可能ならざるべし然るときは朝鮮に於て

▲永久的の鑛業 を維持せんとするには必ず適當の機械を備へ高度純潔品を製出する補助法を鑛主に與ふることを要す現に支那に於ては數多の機械を備へ進捗速かにして品位は朝鮮品に優れるものを出しつゝあり

◎對露重要貿易

日露協會最近調查に係る對露貿易重要輸出入品は九月末迄累計輸出額千五百二十九萬一千九百六十九圓輸入額三百六十六萬二千六百二十八圓を算し九月中貿易額は輸出百九十五萬六千七十六圓輸入六十萬四千六百六十三圓にして前月との比較は輸出に於て四十六萬三千五百六十六圓輸入に於て二十七萬五千百七十二圓を各增加し之を前年同期間との累計比較は輸出六千百二萬五千八百九圓を減退し輸入四十三萬二千三百七十五圓を增加し居れるが之時局の結果に因るこ

◎金利引上 前途の警戒 某銀行家談

東京特電は既報の如く日本銀行の貸出最低利率二厘方の引上を報じ來れるが九月に二厘を引上げ

▲又復二厘 の引上實行を發表せるは何故なりや、思ふに目下の吾が財界は講和の成立を目前に控へ何れも相當自戒の態度をとり居れることゝて日本銀行標準利子の引上げを行はざるべからざる程の事情と理由は特に之れを發見するに苦しむ、思ふに日銀今回の利上は戰亂終熄後の財界を何となく警戒せる點より來れるものと見るべく、然も九月に引上げ更に又引上げて戰前と同率とせしは局面の推移に依り追かけ的に更に三回目の決行を見るやとも思はるれど目先き事はなからん、唯十一月の如きも對外貿易は珍らしく輸入超過を示して

▲戰後貿易 の逆勢を暗示せるやの傾きあり更に對外爲替相場は一層不利を來しつゝある際日銀の利上は吾が貿易に若干の不利なくもなく更に警戒勝ちなる財界の足並を一層警戒勝ちとなさずや、尤も最近の內地金融界は緩漫にして金利漸落の步趨にあり且つ各銀行の資力歸進して日銀金利の制肘を受くる事之れが發日に比し漸く減じ居れるに付金利の變動の如き目立ちたる事なきやも知るべからざれど驟くも一般の人氣には影響を來すべく從つて株式期米棉絲等の投機熱は多少冷却を來すべきか

▲鮮銀態度如何 朝鮮銀行の貸出金利は十月十六日より九月日銀の利上に順應して二厘方の引上を實行したるが今回日銀の利上を見たる以上內鮮中央銀行の最低金利は又復[illegible]を失したること時局の前途稍警戒を要するに付適當の時期に鮮銀も若干の引上を實行するやも計られずと觀測されつゝあり

◎銀行上半帳尻

十一月上半末現在に於ける京城組合銀行の帳尻を聞くに左の如し

預金	
定期預金	九四一、〇五九〇
當座預金	七九五、四七八五
特別當座預金	五四一、九二〇七
諸預金	二、一三四、二九九四
合計	四、四一二、七五七一
貸出	
普通貸附	二、〇七九、四八四八
當座貸越	五〇二、六八九八
割引手形	二、二二一、七八〇〇
荷爲替手形	三三、〇二七七
合計	四、八三六、九八二三

之れを十月末に比し預金に於て二十萬圓を減じ貸出しに於て約百萬圓の增加を來し居れり

◎棉花出廻如何

南鮮の棉花は各販賣所共殆んど涸著絕無なりしが其後價格低落の情勢漸く鮮農民に周知せらるゝ時期漸次盛期に入れる爲め昨今再び出廻あり素より昨年に比すべからざるも目下の處二千萬斤以內の見當

◎改良種鷄配附

京畿道にては大正七年度より五箇年計畫にて改良種鷄普及中なるが本年度はレグホン、名古屋コーチン、プレモースロック種等二千四百羽の處金浦一郡を除く外全部配附を完了せりと

◎滿期兵歸還

羅南[illegible]及第一線部隊の本年滿期除隊兵は二十一日各地を出發淸津に來り二十二日御用船大長丸に乘船して出發せるが尙ほ入營初年兵は來月七日大長丸にて淸津に來るべしと

◎元山移出畜牛

去る十九日元山出帆の平安丸船便により內地へ搬出されたる咸南道產牛は牡三頭牝五十七頭計六十頭なるが內二歲乃至三歲の牡牛牝三十頭は細川氏の取扱ひに係り主として阪神地方の農耕用牛として仕向けられたるが此の價額一千七百五圓又牡三頭牝二十七頭は新に畜牛商木村源三郎氏の移出に係るものにして內地に於て一二箇月間飼育の上肉牛用として屠殺の筈なるが屠殺の結果肉需等良好なるに於ては引き續き移出を繼續すべく此の價格二千百三十圓なりしと

◎東鄕中將入京

鎭海要港部司令官東鄕吉太郎中將は二十三日夜入京巴城館に投ぜり

□西比利亞行（二） モユ生

十一月廿日於哈爾賓

奉天あたり夜通迄の者は紀念に零下十二三度なりしに長春に著きて二度といふ暖かさに、一度結びし氷も解けて松花江の中流は氷塊流るゝ奇觀衆、土地の人も未曾有の事と申居り候、お蔭にて寒さも知らず一行八九元氣に候。所に人を待つ間を利用して吉林に參り候、松花江に沿ひて南右に吉林省の首都たるに耻ぢず八年前に殆んど全く火災に罹りしといふも今は立派に復して堂々たる支那市街の形成致居候、北山孔子廟に上れば、宛然平泉の大きくしたるの感あり思はず快哉を叫ぶ [illegible]名は大いに發達した出廻り盛ならざるべし、市況頗る活況あり、吉林は流石に何れの名所以るかなと思はしむ　明日哈爾賓に向ふべく候

人事消息

▲生田商工課長 廿三日夜歸任
▲井内鮮銀調査局長 東上中のところ廿三日夜歸任
▲櫻井醫學博士 二十三日夜平壤へ
▲井上主計氏（忠南第二部長） 二十三日夜入京龍山へ
▲靑木太郎氏（中日實業會社重役） 同上
▲田川渡氏（芳川商店名古屋支店長） 同上
▲富田儀作氏（鎭南浦商議會頭） 二十四日夜入京の由
▲湊山雅喜氏（三井物產社員） 二十三日入京天眞樓へ

茶前酒後

◆講和會議愈開かれんとし、我國よりも夫々特使の任命あらんとす、其に就ても思ひ出さるゝは、日露戰爭終結の際に於けるポーツマウスの講和會議也。

◆當時我軍は頻りに、露領沿海州の要ヶ所點を、海上より砲擊せり、是は勿論作戰上の必要よりなりしも米國新聞は皮肉なる批評をなして曰く、日本が貴重なる彈丸を、空しく漠茫たる露領沿岸に放つは、何の目的なるかを知らず、之れ恐らくポーツマウスの談判に、聲援を與ふる爲めならんも、沿海州は露都を去る幾千哩、日本の下瀬火藥が如何に偉大なる力を有するも、露都は愚か西伯利の小都市にだも命中するとはなかるべしと。

◆又曰く、露國の全權ウィッテの背後には、軍事に精通する顧問將校も居れり、沿海州の砲彈にて多額の償金に應ずるが如き進言をなさざるべし、此場合若し特使及び顧問に軍人が無智にして臆病ならんか、其砲聲に腰を拔かして、無理なる要求に應ずるが如き、狂態に陷らずとも限られず、全權大使其人の選任が大切なると同時に、軍事顧問の人選も亦重視すべきものなりと論ぜり。

◆吾人は此の皮肉なる評を見て、當時は甚だしく不快を感ぜり。今回更に、帝國よりも、講和會議に特使の派遣あるに當り、思はず當時を追懷す。吾人は當年の米國批評家の口吻を藉るに非ざるも、特使及び隨員選擇には、充分の注意を拂はざるべからず。即ち學究的偏狹的人物も不可、軍事上特種の技能を有する丈にしても不可、要するに矢張優秀の智能に加ふるに世界の大局に通じ居る者に非ざれば、何の貢獻する所なかるべし。

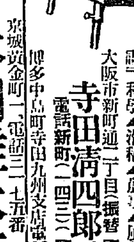
◆一部論者中には、何れにせよ大なる獲物なければ、在外使臣にて澤山なりと云ふ者あるも、吾人は賛する能はざる也。何となれば空前の重大時局として、擧國一致に叫びたるに對して、矛盾するに非ずや。帝國の利益の爲、世界の平和の爲に、最善の努力を爲すべしと云ふは、國民多數の希望なるに非ずや。一部論者の言は不可解也。

致富の秘訣 金をふやす法（無代進呈）
近頃諸物價の騰貴は益々甚しきと反對に金の値打は[illegible]
「東京市神田區一橋通町八番地 株式會社富强世界社」 株式雜誌「富强世界」 「株式講義錄」
[illegible]

汽罐保護 商標 燃料節減 清罐劑
◉罐石豫防 ◉蝕鑄防制
東京市京橋區木挽町三丁目 製造發賣元 彌滿登商會（電話京橋二〇一番）（振替二一〇八〇番）
理想的清罐劑を使用し燃料節減を計るは汽罐使用者の急務なり（說明書御報次第送呈）

八角錢、黑錢用金網、眞鍮物製作 ストーブ各種建築金物
直輸入商 京城本町一丁目 佐野彥藏商店 電話一六三番、振替京城二二〇番
△地方御注文は迅速に御便宜相計可申候 商報御入用の節は御一報被下候はば直に御送附可申上候

◉活動寫眞器械 五百圓以上 百圓以上
◉實物映寫幻燈器械
◉幻燈器械各種 家庭用 九圓以上 百四十圓以上 電球使用最も安全
映畫 教育▲衛生▲宗教▲地理▲科學▲滑稽▲農事▲風景▲風俗
大阪市新町通二丁目（振替一九三二） 寺田淸四郎商店 電話新町（一四三二、一四四番）
博多中島町寺田九州支店電話八七九



北海道材は 洋家具材 本明雜木店
△椅子卓子調製に應じ申候▽
京城黃金町一、電話二一七五番

最新荷著 最新式仕立 背廣服
▲甲（ラクダメルトンス・コツチメルトン） 金五拾貳圓
▲乙（斜子綾スコツチメルトン） 金四拾四圓
▲丙（同上） 金參拾九圓
オーバーコート
▲甲金五拾貳圓 ▲乙金四拾五圓 ▲丙四拾圓
●地方は御申越次第見本と寸法表御送付可申上候
●送料 外五十錢 ●其他長トンビ、婦人コート各種御揃可申上候
京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

軍隊拂下大安賣
茶縞外套、毛布、冬茶縞小倉服、アイボーシャツ袴下、冬羅紗服、ジヤケツ、軍靴、靴下、雨合羽
右特別大安賣仕候間多少に不拘御用命願上候
龍山元町二丁目 川本衣服店 電話五六、振替口座一五六九

大正七年七月一日改正現行

皇室典範增補制定

勅使奉幣儀

山陵神殿に御擧行

皇室典範增補制定に付き神宮神武天皇山陵明治天皇山陵に勅使發遣の儀竝に神武天皇山陵明治天皇山陵に奉幣の儀賢所皇靈殿神殿に奉告の儀別次第左の如し

▲神宮神武天皇山陵明治天皇山陵に勅使發遣の儀

十一月廿五日午後一時御殿(鳳凰の間)を裝飾す同二時宮内大臣式部長官式部官著床但し服裝小禮服、通常禮服、關係諸員亦同じ典、侍從長、侍從、掌典長、掌典衣冠次に勅使單衣冠著床次に出御衣冠 侍從長前行し侍從御劍を奉じ侍從侍從武官長侍從武官御後に候す

次に幣物御覽 掌典長侍從
次に神宮參向の勅使を召す 宮内大臣奉仕
次に御祭文を勅使に授く
勅使退きて幣物の傍に立つ
次に幣物を辛櫃に納む 掌典奉仕
次に勅使幣物を奉じ殿を辭す
此時式部官蹕を稱ふ
次に神武天皇山陵參向の勅使を召す
次に御祭文を勅使に授く 宮内大臣奉仕
勅使退きて幣物の傍に立つ
次に幣物を辛櫃に納む 掌典奉仕
次に勅使幣物を奉じ殿を辭す
此時式部官蹕を稱ふ
次に入御
供奉出御の時の如し
次に各々退下

賢所の儀

十一月廿八日午前九時御殿を裝飾す同九時四十分大勳位、親任官、國務大臣禮遇、前官禮遇、貴族院議長、衆議院議長、勳一等旭日桐花大綬章、功一級、親任官待遇公爵、從一位、勳一等高等官一等、貴族院副議長、衆議院副議長、麝香間祇候侯爵、正二位、高等官二等、功二級、錦雞間祇候、勅任待遇、伯子男各爵總代各一人、貴族院議員總代三人、衆議院議員總代三人、各廳奏任官總代各一人、賢所參集所に參集す、但し服裝男子は大禮服、正服、服制なき者は通常禮服女子は通常服又は袿袴禮服
關係諸員亦同じ
次に親王、親王妃、王、王妃、王世子賢所參集所に參入す
次に 天皇皇后綾綺殿に渡御 侍從奉仕
次に 天皇に御服を供す 同上
次に 天皇に御手水を供す 同上
次に 天皇に御笏を供す 同上
次に皇后に御服を供す 女官奉仕
次に皇后に御手水を供す 同上
次に皇后に御檜扇を供す 同上
次に式部官前導諸員參進本位に就く
次に式部官前導親王、親王妃、王、王妃、王世子參進本位に就く
次に御扉を開く
此の間神樂歌を奏す
次に神饌幣物を供す
此の間神樂歌を奏す
次に掌典長祝詞を奏す
次に 天皇出御
掌典長前行し侍從一人御劍を奉じ同一人御璽に候し同一人御笏を奉じ簀子に候す
次に 天皇入御
供奉出御の時の如し
次に皇后出御
掌典長前行し女官御後に候す
次に皇后内陣の御座に著御女官簀子に候す
次に皇后御拜禮
次に皇后入御
供奉出御の時の如し
次に親王、親王妃、王、王妃、王世子拜禮
次に諸員拜禮
次に幣物神饌を撤す
此の間神樂歌を奏す
次に御扉を閉づ
此の間神樂歌を奏す
次に各退下

皇靈殿の儀
神殿の儀
其の儀賢所の式の如し(御鈴の儀なし)

▲神武天皇山陵に奉幣の儀

十一月廿八日午前九時陵所を裝飾す同九時三十分義士兵陵門外に整列す次に神饌を供す
此間奏樂
次に掌典祝詞を奏す
次に勅使單衣冠參進本位に就く
次に幣物を供す
次に勅使進みて御祭文を奏す
次に幣物神饌を撤す
此間奏樂
次に各々退下

▲明治天皇山陵に奉幣の儀

其儀神武天皇山陵に奉幣式に同じ
皇室典範增補制定に付奉幣の爲勅使として神宮へ參向被仰付
掌典子 河鰭 公篤
右神武天皇山陵へ
掌典 長谷 信道
同 右明治天皇山陵へ
烏丸光大
(東京支局)

♣講和正使に内定せる加藤子

要路の某氏曰く『講和正使が誰に決するかは天機漏らすべからずさ、まだ決定には至らぬがね、加藤子なども其有力な一人だがいざとなれば人が居ないのでね、加藤子の過去にも色々の事がある、然し世間の人氣が集まつて居るやうだ私の考へでは列國から好感情を持たれて居る大看板の人が好いと思ふ、夫には加藤子なども好からう何でもウンと大きな輪郭を持つてごつしり落付いて居なければならない、まあ誰になるかな』と又某外交官は曰く『今の列國會議は陰謀的ではいかぬ、談判中にクレンを用ひて巧い事を遣るといふやうな時代ではもうないので何處迄も堂々と理路によつて戰はねばならぬのである、されば加藤子の如き理智的人材こそ最も適任といふべく殊に加藤子は條約改正其他幾多の談判に經驗を有して居り、列强との交渉についても充分呑込んでゐるのみならず人格態度の立派な事は列强の認める所である』と、外務省側では加藤子說が非常に有力であると噂され官僚系でも『是非加藤子でなければ』と云はれて居る(東京)

○邦人俘虜は出發した

喜悅如何許りか

對獨休戰條約で目下露國に收容されて居る聯合國の俘虜は孰れも一兩月内に夫々自國へ放還の筈であるが現在同國内に收容中の邦人は百五名と其他
▽義勇隊に參加の三十餘名(姓名は明白で無い)で合計百卅七八名位の豫想であるが此等の俘虜と本國間の通信はツイ數箇月前から漸く開始の運びが付いた、該條約締結の頃はモウ同俘獲品が完全に彼等の手に行届いて居た、而も該俘虜中の高級者は
▼常陸丸 便乘の白石機少佐で一同は既に英佛に向けて各々其の收容地を出發の筈であると云ふが數年間故國を見ず敵の抑留となつて居た彼等の心中はいか許りであらうと察せられるのである

○烈風中の難飛行

鶴羽號元山灣頭に飛ぶ

◇觀衆二萬餘に達す

元山毎日主催の山縣氏鶴羽號飛行大會は廿三日午前十一時第一回飛行を爲せしが觀衆無慮一萬人に達し午後の第二回飛行には觀衆二萬餘に達せり朝來西風激しく飛行は氣遣かはれしも山縣氏勇を鼓して飛行す一時は風の爲め危く墜落せんとせしも辛くも無事著陸せるより觀衆の喝采元山灣頭を震撼せり(元山特電)

▽鶴羽號南浦へ

山縣氏の鶴羽號飛行機は廿四日前九時元山發京城通過鎭南浦の飛行大會に臨む(元山特電)

○小麥買占の爲めか?

下關の鈴木家宅搜索さる

久留米區裁判所千賀檢事は二三日前小倉檢事局へ乘り一色上席檢事と協議を凝らし居たるが二十一日福岡地方裁判所より高倫豫審判事書記を隨へ出張し來り直に活動を開始し大里町に在る鈴木商店經營の製粉工場及び運送店の家宅搜索を爲したる後下關に至り鈴木支店を中心として店員の家宅搜索を爲し證據書類を大風呂敷に包み引揚げたる事件の内容は不明なるも或は久留米地方に於ける同店の小麥買占に關する暴利取締令違反の嫌疑によるに非ずやと噂さる(門司特電)

▽製粉の取引 違反か 諸說紛々たり

鈴木商店下關支店及び同店經營の大里製粉工場が判檢事の家宅搜索を受けたる眞相に就ては今不明なるが久留米支部檢事局の關係あるより見れば事件は單に鈴木商店のみに限られたるに非ずして或は日本製粉久留米工場との關係あるに非ずやと云ふ者あり暴利取締令違反を一種なりとも云ふべく或は小麥粉界に混亂を醸せし製粉買占の取引に關係するに非ずやと云ふ者もあり然れども其の眞相は目下判明せず(門司特電)

◇イルクーツクの小學生徒

金谷生

防寒用の家と著物に就ては朝鮮の人は露西亞人に學ぶところが少くない寫眞は小學校通ひの女生徒であるが外套と帽子に暖か相な毛皮を用ゐ手には毛皮の手ぬきをもつて居る、また小さい生徒になると著物は背嚢に背負つてゐるがこれも兩手が自由に使へる點から便利である、朝鮮は西比利亞に比して毛皮が廉いから徒らに薄くて寒い絹物よりも暖かい毛皮を用ゐたら什麽ものであらう、敢て世間の阿母さん方に御たづね申し上げる

○朝鮮米で灘の酒を造る=酒造界の革命?

◇原料の貴の折柄上米を廢めて……

酒といへば灘五郷で釀造されるのを日本隨一として居る全國釀造高の四百萬石の一割強は灘に依つて占められて居る大正六年度の酒造稅は一千四百萬一千三十四圓五十錢で其筆頭は辰馬吉左衛門次が西宮酒造株式會社山邑太左衛門本嘉納治兵衛であつた何故

☒灘五郷の酒が一般に喜ばれ歡迎されるかといへばそれは酒造の生命たる用水が神秘的の味を有つてゐるのと原料の米の選擇が嚴重であるからだ就中灘の西宮鄕の水は天下一品である所が昨年某酒造家が試驗的に攝州米や播州米の上物と雲泥の相違ある朝鮮米七十石で酒造用水でない普通の井水を使用し約百二十石の清酒を造つたところ非常の好成績で芳醇なる他の清酒とは異ならぬものが出來上がつたそこで本年度は四五の酒造家も是に倣ひ何も原料米騰貴の今日高い米を用ひるに當るまいと

☒朝鮮米と西宮鄕から浸水する事になつたが、これが出來れば無論安價になるから灘五郷に酒造の革命が起る譯である右に就て某酒造家は語る『朝鮮米でも他の水でも灘と同じ酒を造ることは今に始まつた事でない現に或酒造家は極内密に買つてこれを高く賣つてゐるのもある要するに灘の酒は水と米とでなく氣候風土に關係だ』と

○小學生の旗行列七千名

門司の祝賀會

門司市休戰祝賀會は二十一日午前十一時同市小學校に於て催し來賓者約一千名あり吉川市長は祝辭を朗讀し次で來賓總代として英國領事祝辭を述べ各々乾杯して下關各國人公使へ祝電を發し天皇陛下萬歳を三唱し式後市内各小學校生徒約七千名の旗行列竝び夜に入りて盛んなる提灯行列を催し又餘興等ありて大いに賑ひたり(門司電)

▽晉州の祝賀會

廿三日晉州にて休戰祝賀會開催されて參會者三百名に達し盛會午後更に混合旗行列あり參加する者三千餘名に達し盛會を極めたり(晉州特電)

○本署の健康診斷決行に就て

趣旨目的を明察されたい

本町警察署長 小牟田警視談

當署管内全部の藝妓娼妓に對する健康診斷は去る十八日から着手して藝妓は一應終了し娼妓も廿五日を以て完了の筈である、今回の健康診斷の趣旨が奈邊に存するかは市民諸君の判斷に訴へて自から明白であらうと信ずる診斷の

▼結果 に就ては未だ數字を示して良否を明言することは出來ないが後日精査の結果を表する機もあらう、本署では藝妓、娼妓の診斷完了を待つて引續き廿五日から來月の六日迄に貸座敷、料理屋、飲食店、宿屋、理髮業者、女髮結の營業者、家族、雇人、從業者、其他の健康診斷を實行する筈である、ここの全部を通じて

▼三千 人以上の受診者であるから此の健康診斷は本町、明治町、旭町、本町一丁目、二丁目、三丁目、黄金町、明治町病院、本町病院の各病院で受くることになつた、それで其他の注意としては受診者に對し時間の許す限り計畫を實行する者の營業者を本署に召して説明を與へ

▼待合 の時間を短縮し參院の時刻を午前午後を通じ四五回に分け各病院には警官を派して諸般の整理指導を爲すことにした、診斷料は特に本署から醫師會に交渉して内地人三十錢、朝鮮人支那人二十錢に決定し支拂ふことになつて居る、『ケ米』を造ることは今に始まつた事でない現に或酒造家は…

(診斷の結果傳染性皮膚病、トラホーム或は肺結核又は花柳病患者の如きを檢出せらるるかも知れないが

▼秘密 に細密に診斷其他の方面に依り愼重に檢査を重ね當該醫師團の決定し署に於て夫々措置する筈である、是は勿論一身上の秘密に屬し且つ夫々營業上の消長に關する問題であるから當者に對しては秘密を守るは勿論之を發表する迄は充分當署に於ても顧慮するのである、かから受診者も此趣旨を諒として該計畫に

▼違反 せず時刻其他の規則を嚴守し處罰せられないやうに望む、尚又一般市民諸君も此の健康診斷決行に就ての趣旨目的を明察されんことを希望する次第である

○公判廷にて雌雄を決し可申候

珍無類の告訴狀

二十三日の日曜日に珍無類の告訴狀が本町警察署に舞ひ込んだ文辭頗る雄渾にして而も慷慨悲憤に充ちて居る告訴人は京城南大門外京城旅館止宿某と云ふ者、告訴狀の原文左の通り

告訴狀

或意志の疏通を缺きたるにより日本人白石組配下朝鮮人車夫數名より打擲されたり、精神的、武上的、大々的、一大打擊を蒙り申候に付此段告訴申候也
追つて萬事は公判廷に於いて雌雄を決し申す可く候也(大正七年十一月二十三日京城南大門外京城旅館止宿誰某)

○全部を賣り盡した

出征兵慰問市の盛況

◇直に慰問袋調製

西伯利の野に厳冬と戰ひ不自由を忍ぶ吾出征兵士の苦しみの幾分かを輕くせんが爲め既報の如く市内南米倉町日本聖公會にては廿二三の兩日率先して慈善市を開いた客の方でも此美しい催しを助けるといふ事になるので久水外事課長令嬢英國領事夫人外各領事夫人等開會前より詰かけて會員諸姉の眞心こめた作品を買取つて行つたので二日目には全部賣切れの盛況を呈した賣上げ金の精算に就ては幹事立會ひの上行ひそれに會員の同情金を加へて慰問袋の調達に取り掛る由であるが今回の慈善市は出征兵士の慰問と云ふ點もあらうが近年にない盛況で一人で何十圓と買取つて行く篤志家もあつて品物がズク／＼減つて行くのには嬉しくて堪まらなかつたとホク／＼しながら眞瀨幹事は語つて居た

○簡易工業展覽會

即賣四百餘圓に及ぶ

既報於義洞簡易工業學校の生徒製作品展覽會は廿三日午前九時から午後四時まで開かれた旗日の事でもあり特に觀覽者が多く、婦人連の顔も多數見受けられた、陳列された木工、金工その他の科の十六七歳以下約五十名の鮮人生徒の作品は實に一千五十四點に及んである

○今日は三回目の雪

零下三度二分

二十四日朝に於ける最低温度は零下三度二分に降つた、そして朝方には凛冽な寒風に雪さへチラついた、測候所に聞いて見ると本月の八日に初雪が降り次は十九日に今日のが三回目の雪だそうであるが前二回は夜間に降つたので晝間として今日のが初雪である

○大邱の初雪

大邱にては廿四日朝初雪降る昨年より十八日遲れ平年より六日早し(大邱特電)

毎週ポンチ

眞黑々

(一)いたづら同士の凸坊は今日も相變らず何か面白い事は ないかと方々うろついて居ると ふと目に付いたのが看板屋のペンキ屋と菜葉屋の おやぢでした
(二)此の二つを結び付けたら何か面白い芝居になり相なもの だと、ばし考へた末菜葉屋がなしばつた縄を取て縄の一端をチゲに結び付け 一方をペンキ屋の梯子にゆはひ付けました、そして遠くの方から之れを見物して居りました
(三)すると折から向ふを通る奥さんが一つ菜葉をひやかしてやらうと一寸買つてョホーと どなりました 菜葉屋は之れや一儲けと喜んでチゲをかたげて歩き出したから大變ペンキ屋の梯子はスタンヌタンと倒れあたりはペンキだらけになりました
(四)ョボの顔はペンキで眞黑々になりました

◇…警察の窓から…◇

宿屋料理店、飲食店營業者雇人及び家族の健康診斷日割
▲十一月二十五日▲南大門四五丁目の一部以上高崎病院▲南米倉町一丁目谷川町、以上市島病院▲倭城臺町の一部、旭町二三丁目の一部以上高井病院▲大和町、若草町本町三丁目、以上古城病院▲春堂病院▲黄金町一二丁目、同三丁目の一部以上宇野病院(以上は總て内地人側營業者のみなり)

○温突から大事

廿三日午後八時半頃市内芳山町四番地孫の家の温突より失火し折からの烈風に煽られて大事に至らんとせしも消防宜しきを得て全燒二戶半燒二戶にして同九時鎭火せり損害は約八百圓にして原因は孫の妻女洪姓女が温突を焚きし際焚口の薬に燃移りしに因りしものならんと

(前の囲み記事の續き)てその精巧さには觀覽者何れもをみはつて歎いて居た、婦人連ははまあこれが……と嘆賞の聲を洩らす校長はニコ／＼顔で説明を加へて歩く、こんな有樣で賣れる／＼本箱、本立、机、卓子、寶石入、炭取、硯箱、火鉢、火箸、五德、金盥、灰箒、鑢、針箱等までが羽が生えて飛ぶの好況、午後四時までに賣約の濟んだものが約六百五十點、その代價は四百圓に及んだと

○奉天の祝賀會

◆旅行列と軍人招待會◆

島崎小杉兩氏を副司令となして擧行し最後に總領事館前にて萬歳を三唱して散會せり(奉天)十時より金龍亭に於て擧行した[illegible]に到着文武大官の出迎へを受けて督軍署に入り儀閱を終へ本日當地に

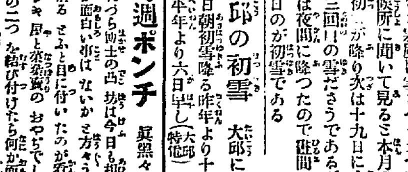
○中村關東都督

繼がるべしと云ふ
し滯在する處ありしが午後五時會見を終り午後七時五十分大連發列車にて着任

▲廿二日午前入港高麗丸二三等客
女小松里吉、伊藤齊作、坂口さた、杉村すす、西村、井上留三郎、河本つみ、井上晉、名合助、本間幸吉、鍋島安八、同文子、藤田まさ、岡和正、阿部竹次郎、山口よし、吉田九助、黨木大助、岡見捨八、茂田三郎、宮部國市、牧野庄吉、木村喜助
二等(四十九名)何野總吉、後藤ひさ、竹下五十三郎、近藤照次、山本與一、矢島三

天氣 曇

▲十一月二十五日 今日 日出 七時二十一分 日沒 五時十八分
十一月二十六日
仁川 干潮 午前 十一時 午後 十一時
滿潮



丈夫で安い實用靴
ボックス革製
編上 甲五圓四十錢 乙四圓四十錢
深ゴム 甲五圓七十錢 乙四圓七十錢
半靴 甲四圓九十錢 乙三圓九十錢
御注文の節は足袋文數と種類御申越あれば代金引換小包で送る
赤皮上等ボックス
踵はゴム付
紐は絹紐
六百足限り
特價
五圓形五十錢
五圓形半靴
五圓形九十錢
形は流行の佛國式上十錢
米形西形こと有
他に此如き店なし
廉價
陸軍御用 東京牛込肴町六〇 振替東京四壹八八四番 ツブク靴店

かぜねつ
面白い程きく
カギヤピリン
彼是と手遲れぬ様直ぐ用ゐよ
本舗 名古屋 荒川長太郎

植商店
[illegible]三三八番

▲卸小賣 ▲部分品 ▲修繕 ▲營業案内進呈 ▲御用の方は一報次第參上

軍隊毛布
壹千五百組限り
上等毛布
二枚一組 一圓五十錢
東京市日本橋區本石町一丁目東京織物仲繼店にて先般陸軍品を買入れたる茶色毛布の處分を始めたるが品質の善き割に直段の安い事は全く信用ある同店の一流の長所にて他店の模倣の出來ぬ處也而も二枚つき一組の代價僅かに壹圓五十錢也(甲號二圓五十錢乙號)三圓四十五錢にて一般に賣出す家庭にも旅行にも最も必要の品なり希望者は至急ハガキにて申込まれ受付順に代金引換小包で發送す數に限りあり賣切れ後は送付せず
神田東京 株式會社 東京織物仲繼店
西比利亞の或る方面に送るべき防寒毛布として更に遜色なき品なりしが今回時局の變遷に因り中止となり不得止原毛の價格なる入判二枚續き一組(茶鼠色新製品)
更に一組を注文する者に一個のメッキでなき自然十八金色指輪を進呈すと云ふ

乾物 糖粉 煙草 雜貨 卸問屋
釜山 山西商店
電話 [illegible]

釜山 島田糸店
電話 五七八番

酒精 燒酎 西貢米 碎米 砂糖 麥粉
釜山理立新町
電話長一〇八番

月刊 清酒・罐詰
電話三五九番
釜山 あづまや商店
振替京城三九番
發行 糖粉・官煙・

長岡商店
雜貨問屋
釜山名商店案内

故成田忠良儀葬送の際は遠路御會葬被成下忝く御尊名奉存候取込中難計候に漏れも不取敢以付右御禮不取敢如紙上御座候此段敬具
大正七年十二月二十四日
父 成田碩內
男 成田不二生
親戚一同

行すべく決定したるが其の大要は……午後一時より各戸一人以上を出し……旗行列を賑々しく總督事を司令に……

京日小供ページ

信綱と探幽

松平信綱がある時狩野探幽を招いて畫を描かせた事がありました、信綱は先づ探幽に向つて孔子の肖像を書いて呉れと頼みました、探幽は早速筆を執つて紙に對しましたが信綱は探幽が書き終るまでその前に端座して少しも姿を崩さなかつた。探幽は信綱の謹嚴の精神と態度に、自然に自分も謹嚴にならなければなりませんでした。斯うして謹嚴な精神と態度を以て書いた孔子の像は、如何にも聖人の面目を表して立派なものでありました。次に信綱は龍を書いて呉れと言ひました、探幽はそれを承知してさて筆を揮はうとした時何と思つたか信綱はフイと立ち上がつて物をも云はず硯を蹴飛ばして奥の方に歸つて行つてしまひました、探幽は怒るまい事か、人を侮辱するも甚だしい我々筆を執るまいと云つて筆を投げようとしますと家來の者共は今茲で畫を描く事を止められてはと色々になだめ賺しつゝ、兎にも角にも龍の圖を畫がいて貰ふ事をお願ひしました、探幽も致方なく筆を揮つたもの、心中に燃ゆる怒氣は筆端に發して、出來上がつた龍は雲霓を吐くかと思はれる程凄いものでありました此時信綱は靜かに入つて來て『先程は失禮致した、實を申せば龍に怒氣のないのは死せるも同然、この龍を生かすがためには畫工の怒氣を表さればならぬによつてあのやうに無禮を致して足下の怒氣を誘起した次第である、無禮は許し給へ』と云つて厚く謝したと云ふ事であります

白い鳥

涙光山人

『あら、また今日も來てるわ。』鈴子さんは頓狂な聲を出してお庭の南天の木に止まつて眞紅い實を食む可愛い白い小鳥を凝視ました、何處から迷うて來るのだやら、二三日前から毎日のやうに鈴子さんのお宅の庭に飛んで來ては好い聲で啼いては、木の枝から枝を渡つたり紅い實をつひばんだり二三時間も遊んだらまた何處へか行つてしまひます、斯うして白い小鳥はその翌日も、その翌日も、最う今日で一週間にもなりますが只の一日も休まないで鈴子さんのお庭へ遊びに參ります、此頃では鈴子さんも、つるべ落しの秋の日がお縁側を傳うて障子に庭樹の影をうつす頃になると、『最う來る頃だわ』と待つやうになりました、そして日が暮るまで枝から枝に飛び渡り南天の實をついばんで美しい音で唄ふ白い小鳥の小唄に耳かたむけて聞き入りました、毎日のやうに斯うして聞いて居ますとチ、チ、と鳴くその唄を鈴子さんは聞き分けが出來るやうでなりません

夕ぐれ日ぐれ、夕ぐれ日ぐれ
西の山燒けるよ
こいこい小鳥
赤い南天がまねく
鈴子さんのお庭では
赤い南天がまねく
鈴子さんのお庭では

小鳥が唄つてる歌は鈴子さんのお耳に丁度こんなに聞ねて來ます

『ほんとに白い鳥はお話が出來るのかしら』鈴子さんは或日『私の好きな小鳥さんお前の唄ふ歌は一體誰が作つたの？』と問うて見ました、すると白い小鳥はさもお孃さん待つてましたと云ふ顏をして『あの歌ですか、さあ誰が作つたのでせう、私の目の前に、そらお下の髮に紅いリボンをさした人が……さあ誰でせうね』『まあいやな小鳥ね誰だか、そんな事を云つたつてわからない事よ、はつきりと云つて頂戴ね』何處かで聞いた事のあるやうな小唄を鈴子さんは一生懸命に考へて見ました（續く）

休戰と休戰

＝戰止みぬ＝
戰止みぬ、祝へ祝へ
吾等の神は平和の神、
血汐は流れて世界を洗ひ
勇ましき犠牲はその數知らず
吾等の神は平和の神よ
戰止みぬ、祝へ祝へ

世界の端から端まで喜びの聲が溢れてゐますそれもその筈四年間も續いた大戰が休戰となつたのですもの、滿子さんは弟の光雄さんと妹の光子さんと三人で、西伯利に出征したお父さんの寫眞を床の間へ飾つてお父さんやお父さんのお友達の兵隊さん達の國を思ふ忠義な心に感謝の意を表して、その前でお友達を招いて勇ましい『戰爭お伽』を開いて樂しく一夜を過ごしました

講演日誌

涙光生

▲十一月十七日　龍山元町本願寺の佛日曜學校で午前と午後と二回講演致しました、龍山の少年少女が非常に歡迎して下さる事は龍に取つてはどんなに嬉しい事で座いませう、これは少しで面が赧ひますが當日餘興に出る人達が『漂泊の歌』か合奏しませうか、と云つて下さるに聞きました、皆さん如何思ひますか
▲十一月廿二日　京城女子高等校で午後一時から講演しました、此處のお孃さん達は非常に仲よくして下さいます、そして話を聞いたらきつと泣いて下さいます、講演が濟んでからは皆さんに繪を見せて貰ひました

讀者文藝

◆和歌◆
◎中山　富雄
ガラス越し默りて空を見つむれば一かたまりの雲流れゆきけり
今日もまたふと思ひ出でて悲しければ迷ひ出でたる犬な思へば

◆俳句◆
◎本田方　富雄
朝寒や向ひの壁地炎火かな
案山子崩れしまゝ秋は逝く

前線に飢寒を冒して健戰せるチエツヒ軍

山險にして谿狹く雪深し　半身不隨の鐵道によりて前進す

ウラル戰線に於る戰況を聞くに目下過激派軍は總司令部をカザン方面に置き兵をペルムよりサマラに至る線に進めつゝあるが其數約十三萬之に北露方面の戰線にあるものを合すれば二十九萬に達し聯合軍及び西伯利軍に對し頗る優勢なり之に對するチエヒ軍の兵力は僅に數萬を出でず八月ペンザを占領されて十月サマラを拋棄し今や沿カマ川方面よりウハアオレンブルグに至る東西千八百キロの戰線を維持しつゝありと雖も旗色惡くボルズイレフが

講和に驚きて

一日も早く敵を掃蕩し講和會議に於て列國の同情を得んものと焦りつゝあるにも拘らず現戰線を押進むる事到底困難なる狀況にあり今チエヒ軍の作戰概況を觀るに西伯利軍司令部にはイワノフ少將ありオムスクの最高司令部にはボルズイレフあり戰線にはエカテリンブルグにガイダ少將の率ゆる北ウラル正面軍（兵數一萬五千）ありて

健戰大に努め

敵の左翼及び北露方面軍を牽制するに力あり目下ペルムを指して西進しつゝあるが同方面は已に雪深く、加ふるに谷狹く山險しくして兵を動かす事困難なれば如何に驍將ガイダが叱咤するも兵を進むる能はざる可く沿カマ川正面はシユーボフ少將ピルクスにありてシンベルグ方面の敵と對峙しつゝあるが將卒固より戰意なく

武器彈藥缺乏

し居るを以て烏合の衆の敵に對してさへ心細き情況にあり、ウハアにはウオイチエコフスキ少將の率ゆる約二萬のウラル正面軍ありオレンブルグにはウラル哥薩克を率ゆるズウートフ少將あり、之等戰線の後方司令部としては、チユリヤビンスクの總司令部にはスーロウイ少將ありクルガンには後方司令部ありてベレゾフスキー少將採配を振り、チユーメンには右後司令部ありてハンゲン中將專ら

敵の中央主力

を衝かんとしオレンブルグには西部司令部ありてズウートフ少將サマラ方面の敵を驅逐せんとしつゝあり、目下全戰線切りに前進すべく最高司令部より嚴令され居るも是とも枉ぐる細き鐵道は半身不隨にて大部隊の兵を輸送する能はざるは勿論後方よりの秣の補給だに意の如くならざる酷寒襲ひ將卒共

未だ防寒具を

に凍ゆるも配給せられざるを以て全軍を擧げて戰ひを厭ひ居れり、敵も又少數は主義に殉ぜんとして勇敢にも過激派軍と闘ひつゝあるも大多數は衣食のため過激派に投じたるものか然らざれば强制徵兵に依り餘儀なくも戰線に就きたるものにして

殆んど戰意なければ

司令部が如何に焦躁悶々として戰局の發展を策するも到底目覺ましき戰闘をなさゞるべく、目下の狀態のまゝにて冬營に入るならんと觀測されつゝあり併し乍ら歐露に於ける過激派軍は今や二十九萬の兵を北露方面とウラル戰線に送り更に二十一萬の兵を募集せんとしつゝあるが近く目的を完了し

茲に五十萬の

大軍を擁するに至るならんとの情報あり、之に反して西伯利政府軍は五個軍團の編成に着手し、漸く第一オムスク軍團第二ステップ軍團第三ウラル軍團の編成を大半終りたりと雖も第四イルクツク軍團は半にも達せず第五極東軍團は政府との間に權限上の爭ひありて假令優秀なる軍團を組織するとも政府のために犬馬の勞を取るが如き事

萬無かる可き

を以て結局五個軍團と云ふも戰場に送らる可き兵は所要の四分の一に達すれば成功なりと目せられつゝあり、兵力已に斯くの如し若し聯合軍の援助無からんか過激派軍のために西伯利を蹂躙さるゝの虞あれば全政府は頻りに聯合軍のウラル正面戰線への出兵を熱望し居れり（イルクツクにて早川生）

奉天經濟通信

製材と建築界…錢鈔…石綿

◆製材　昨年來奉天建築界の隆盛に伴ない一般材木業者は順調なる發展を遂げたるが尙ほ將來建築工業等益旺盛なるべき見込みなるを以て奉天製材會社にては今夏來動力並に機械の增設を計畫し既に動力の据付け並に工場建物の建築を終りたるが運送上の關係より製材機械の到着遲延したるも是れ又大部分は到着したれば本年中には是が据付けを終了すべき豫定なり而して現在動力は二十馬力なるが是れを三十馬力となし現今一日製材六千才餘なるを一萬乃至一萬二千才に增加すべき方針なりと又從來製材全部は三浦商會をして悉皆販賣の衝に當らしめつゝありしが工場增設全部竣工の上は會社直接營業を開始すべき豫定なりと

◆錢鈔　一昨年來奉天在留日本人間にて問題となりつゝありし錢鈔信託事業は其後迂餘曲折を經て本年六七月の候に入り都督府の方針として附屬地內に於て大々的施設の者は許可せざる事と決定したるを以て遂に行き惱み發起人側に於ても已むを得ず調印を返すなどし全然其影を潛めたるが尙ほ聞く所によれば其筋に於ては附屬地其他城內を除く外の地に居住せる支那人の不便を思ひ小規模のものとなし支那人經營の下に許可すべき方針を明かにし且つ其の成績良好なるを認むるに於ては日支合辦にて大規模計畫を許可すべしと因に支那人として……經營の任に當らしむべく決定し居るとの事

◆石綿　在奉天勝榮石綿株式會社は創立の當時に於ては七月下旬以て工場全部を完成し作業を始むる豫定なりしも諸種の困難より惹いて工場の完成を見ず……

景勝地として成川は好い所（下）

（二）産業（二）養蠶（三）……

◆産物　豐多なる地として……

◆養蠶　養蠶は又盛んにして平安南道全體の一萬八千石中成川郡は四千三十六石の蠶繭を得其收額二萬八千三百圓は農家の副業として富を得てる養蠶について面白い話がある同郡の養蠶技手は鮮語がうまい、同技手の作歌なりと云ふを聞くに

ポンタレ、カブシヨ
ボンタレ、カブシヨ
チイチイ、ピブチネ、ポンタレ
カブセ、
ボンルウ、タルキヨム
リンズウ、ボウルキヨム
キヨムサ、キヨムサロ
ポンタレ、カブシエ

歌の意は『桑摘みに往きませう、彼の美しい娘の家の裏の畑に、桑を摘みに往きませう、娘を見がてら桑を摘みにゆきませう』と云ふのだと話を聞いたが蠶業奬勵も斯の如くに熱心にやつてゐるとの點は歌の節と共に甚だ面白い何しろ成川郡が大正五年繭の收穫八千九百圓なりしに對して既往三年にして二萬圓の增收を得られると共に

◆牛　の數は減切り殖ね大正六年六月現在の數は二千三百頭前年に比し一千二百頭增したが是は蠶業で儲けた金で牛を買ひ繁殖を計つてゐるのださうで本年は約一千五百頭を移出したとの話を聞いた

◆煙草　に至つては增收を計ると共にこれ又耕作及採取調製に至るまで改良を加へてゐる同郡に於る煙草の收穫高は今日五萬貫を得一貫一圓七十錢にして八萬五千圓を得てゐるが近時改良の要點につき實の技手指導つて居く

……山元に於ける作業も……本年末までには若干の製品を市場に上すべき豫定なりと

朝鮮を通る外國人の數

多いのは矢張り露西亞人　北行は南行の二倍半以上

朝鮮鐵道に依り國境を通過する外人の來往に付き新義州警察署の調査する處によれば頃日は北行するもの多きに比し南行するものゝ著しく減少せるを見る通過者は南北行共に露國人最も其多數を占め英米兩國人是に次ぎ近時に於ける……通過外人中旅券不備の爲入境を禁止せるもの露國人二名ありたるを除き外人にして入國を拒絕せられたるものなし今客月中に於ける外人通過數を聞くに南行約百五十名北行約三百五十名にして從來右は一時本國の動亂を避けて渡來したるもの最近西伯利亞の秩序恢復せるを見て歸國するもの多きに因るべしと云ふ（新義州）

奥地へ行く程慘めなもの

賣藥すら無し

成南の奥地たる長津、甲山、山水、豐山郡方面にありては先般來惡性感冒流行の爲め非常なる困難を來したるが從來同地方にては醫師所在地若くば港市の要の地に公醫を常置しあるの外醫療機關欠乏せる爲めこれ等の地方に在る罹病者は賣藥の力に據りて僅に治癒を計り居れども地方に依りては其の賣藥を商ふ店舖すら無く只々命を天に任すと云ふ悲慘なる狀態に在り殊に甚だしきは只一名の賴とする公醫が感冒に犯され患者の治療を爲し能はざりし地方もあり官民の困苦は實に一方ならぬ有樣にて南一感冒劑を極めたる際は定價十錢の解熱劑が十五錢乃至二十錢にて賣買せられたる地方もありたりと（咸興）

厄介な郵便

少し雨が降ると

（一切到着せず…島致院江陵間）

地方では郵便の延着で不當の多いは珍らしき事に非されども島致院江陵間の遞送故障の多いのは殊に甚しい夏秋冬不可抗力の天候など絕えず郵便物の到着した事がない、僻地の悲しさに延着もある、杜絕もするが普通晴天の時と雖も少々雨が降れば何うしたものか郵便物が來ない此れに增水なくも少々雨が降れば何にも晴天の時だけ遞送するものと見ゆる之れが一箇月の內再三あるから驚く夫だから雨が降つたら最後手紙が來ない、新聞雜誌が來ない、一日暗黑世界となる舊時代と違ひ今では文明の利器たる通信機關が泣く當局の放任主義も甚だしい商業上至急を要する往復文書も降雨の爲め來ず時機を失する外の損害を招く遞送夫の怠慢か當局の解怠か何しろ監督官廳に責任があると社會の交通機關通信機關は一日寸時間も忽に出來ないものだ僻地だから一日位遅送が遲れても好いと思うて貰つては困る島致院江陵線と云へば主要の線路である切に當局の一顧を煩はす（江陵にて天望生）

人夫の大拂底

鮮人夫が日に三圓

郵便局の被むる打擊尠しとせず

咸鏡南道の奥地は從來郵便局の受持區域過大に失し集配の上に夥からぬ不便を感じて居たが近時一般物價騰貴に連れ鮮人人夫の賃銀大に暴騰し北靑群新浦港附近にては目下盛漁期とて人夫拂底し日給三圓以外を給するも尙人員不足の有樣にて殊に明太漁期に際し人夫の勞銀は日に騰一方の狀況に在るを以て遞送集配人の募集に應ずる者なく加ふるに先般來惡性感冒流行の爲め遞送集配人の之に犯さるゝ者多く益々人員の缺乏を來し某々郵便局所の如きは止むを得ず事務員をして遞送集配に從事せしめ居るも其事務員すら不足勝の有樣なれば一般に非常なる困難を感ずると共に一方同地方居住民にありても電報郵便等遲延勝なる爲め尠からざる不便を感じ居れるが目下同地方にては物價騰貴に伴なふ勞銀の昂上より鮮人馬牛車夫等に大缺乏を來し定額の四五割を增給するも尙之に應ずる者なく北靑新浦其他貨物の停滯夥しき由（咸興）

三防川水電

明春匆々設計

京元線三防川水力電氣事業の出願者は過日の紙上に報ぜしが本事業の計畫は從來揚川方面に於て……佐瀨熊鐵氏の發起に從事せる佐瀨氏の手に基き荒井泰治、小川平吉、伊藤金彌氏外一名（以上東京）西慶與一郎（慶州）樫原幾造（廣島）佐瀨熊鐵（京城）七氏の出願に係り今回工事の設計を利根川水電株式會社顧問吉原重造氏（元遞信省勅任技師）に託したるに付吉原氏東京より出張し廿日京城より佐瀨氏同伴三防に着し目下事業地全線の踏査中なり聞く所に由れば來春解氷を待ち實測設計に着手し約三箇月間に之を了はり直ちに本認可を申請する筈なりと云ふ（三防）

咸興と慰問袋

愛國婦人會咸興支部にては西伯利出征兵士に贈る爲め去る十一日より慰問袋の募集をなしたるが成績頗る良好にして應募者內鮮人を通じて……

結氷＝豆滿江

豆滿江下流土田附近より江口一帶に於て既に全部結氷し對岸との交通杜絕するに至れり（清津）

黑山白水

◆米國人にアンダーソンと云ふ商人が居ると思し召せ▲此の商人が最近支那から朝鮮を經由して歸國の途中に歐洲戰爭が休戰となつた歐米人の喜びは非常なもので盛んに各地で祝杯が擧げられた▲滿洲でも日本人以上に支那人は歡喜の情を形式にまで現はして提灯行列イルミネーション等をやつて景氣を付けた▲處で話は戻り其の米國商人アンダーソンが滿洲某地のホテルに投宿してる時休戰が發表されたものだから堪まらない乾杯又乾盃、果ては泥醉で盛んに管を卷いた▲其の管を卷いた間にも斯う云ふ事を云ふた、是れはホントの酒の上で云はせた事、保證の限りではないが耳……▲自分は支那政府への電線を一手に收める約束をした、其の價格は原價より四割引、其の切れ込みは或所から補給して呉れる事になつてゐる、是れで支那の通信機關は大に整備される事となるであらう▲滿洲では日本が滿鐵經營の任に當つてゐるから運輸機關は先づ遺憾なしと見ねばならぬ▲於て世界大戰爭後の經濟戰場たる支那滿洲西伯利に於ける通信運輸機關は完備したものと見ねばならぬ▲而して自分の本國の狀態は如何と云ふに戰爭のお蔭は大したもので大金滿國となり濟ました此の豐富なる資本は戰後東洋に向つて放資されねばならぬ▲電線の買込み鐵道の管理經營等は其の一端に過ぎないで南滿鐵道の株なぞは向後自國政府が此の富裕なる資本を放下して必ず買占を行ふに相違ないと（若天）

モシ諸君の内に？

若し諸君の内に……胸痞等を覺ゆる人あらば其人は胃腸疾患ある人なり
■食物の消化惡しく
ホシ胃腸藥は胃腸內の消化液の分泌を速進する有効作用を有するが故に、消化不良の人が之を服用する、時は直ちに胃腸內の不消化物を消化し、完全に營養素を吸收するを得べし。

若し諸君の内に……を催ほし、胸むかつく人あらば其人は胃腸に疾患ある人なり
■溜飮噯氣嘔吐
ホシ胃腸藥は胃腸の抵抗力を強くする作用を有するが故に、斯くの如き人が之れを服用するときは直ちに溜飮、噯氣、嘔吐を治し、胸部のむかつきを一掃し去る。

若し諸君の内に……爲す人あらば必ず飲食の前後にホシ胃腸藥を服用せらるべし
■惡醉、宿醉、等を
ホシ胃腸藥は胃腸の活動を旺盛ならしむる有効作用を有するが故に、之れを服用する時は惡醉、宿醉等の惡氣は直ちに發散して元氣旺盛となる。

若し諸君の内に……たりと覺えし人あらば、直ちにホシ胃腸藥を服用せらるべし
■食過ぎ飲過ぎ
ホシ胃腸藥は消化作用頗る偉大なる有効成分を有するを以て、食過ぎ、飲過ぎを爲したりと覺えし人あらば、之を一匙服用して其消化を迅速ならしめ胃腸の障害を豫防すべし。

若し諸君の内に……
■本日下痢を催ほせし人あらば直ちにホシ下痢止を服用し、次にホシ胃腸藥を服用せられよ
下痢は胃腸の活動力薄弱となりし證據なれば打捨て置かば愈々重き胃腸病に陷ることがある。故に下痢を止むるに卓効あるホシ下痢止を服用し、後にホシ胃腸藥を用ゐて胃腸を健全ならしめよ。

胃病良藥
ホシ胃腸藥
定價　一圓五十錢　試用　廿錢
東京　星製藥株式會社

天氣豫報　晴

演口 毛谷村六助 卅六角力番

七十席 桃川 桂 速記 / 浪上義三郎 玉

澤村才八は妻のおまきを呼んで『まきや、俺は何を云ふにも今は漸う十石三人扶持より頂戴が出來んが、然し俺も何時までも恁うして詰まらぬ足輕風情で暮さうとは思はない、今に何處かに戰爭があつたら、俺は乾度武勇を現はして槍先の功名を働いて立身出世をいたし、お前にも樂をさせるから、苦は樂の基のといふこともある、今の内は御辛抱と思つて俺は此節城内の御普請に就いて組頭を仰付られたから、その御用を勤めなければならない、處で此の玄米はお前の役といたして、恁ういふ工夫をいたしたから、此一升徳利の中へ玄米を入れて、此の棒でコツ〳〵と一日搗いて居ると、遂には糠が剝げて白米になる、別段お前は内職をするには及ばぬから、お前と俺と一日食ふだけの米を恁うやつて搗てくれますやう』と隨分倹約な人があつたものでございます、おまきさんも夫の氣性は充分知りぬいて居りますから まき『委細承知いたしました』といふのでそれから後は毎日々々徳利の中へ少しづゝ玄米を入れてコツ〳〵と棒で搗いて漸う一日かゝつて五六合の白米が出來ます、その米を炊きまして夫婦が食事をいたし、又行厨に詰めましてそれを持つて澤村才八は普請場へ參り、大工や其他普請に奔走いたして居りまする者一々お世辭を遣ひ、才『あ、御苦勞でございます、まア成る丈お前も御奉行樣の御指圖に從ひ、ドシ〳〵勵んで普請をして下さい方何分亂世のことでありますから』と種々にお世辭を遣ひます、又折々大工などの作事場へ見廻りに來つて、怠らぬやうにして働かせますといふのは、最う刻限にもなりまして互に話を始め出ますると、自然永引きまして冗な時間を費しまするから毎日のやうに作事場へ來つては人足共を巧い具合に待遇ます、後には作事方の者は 『オイ大體澤村さんは口の巧いことを云つて、遂に俺達を騙し使ひに〳〵なさる、他所へ仕事に行つてもこんなに働いた事は無い、まア能く考へて見ると、一日の内に煙草一服喫ふ間もありやアしねい、然し今日は何んと好い天氣ではねいか もう是れ時分で、正午飯の辨當を遣つても宜さそうなものだが、未だ小頭が何んとも云つて來ねいのに、辨當を遣つて居ようものなら俺でさへ喰はないのに、お前達が飯を喰ふのはと云つてお目玉を頂戴すは極つて居らア』と小言を云ひながら作事をして居ります、處へ正午刻に相成りますと澤村才八は自分の行厨を提て作事場へ遣つて參り 才『サア〳〵皆な、最う刻限だよ、大きにお働き御苦勞でございます、手を止めて茶も沸いて居るから行厨をお遣ひなさい、今日は此の通り長閑な天氣だから、お濠の前に先刻筵を敷かせて置いたから、彼處で皆な行厨を遣ひなさい、俺も一緒に遣ひませう』と作事方一同とお濠前で行厨を遣ひます、處が洵に長閑な天氣でございますから、圖らず左手にございます角櫓へ細川越中守侯數多の家來をお伴れになつてお上りになつて、氣になるものと見えて、大手前の普請は何の位出來上つたかと熟々見てお在になりますと、一人の足輕體の者が東西に奔走いたして、今お濠の傍の廣場に席を敷まして、皆の者を此處へ伴れて參つて行厨を遣はせまするが、何のことはない炊事場の小使同樣に働いて、大きな土瓶を提て 才『さア皆な、何うぞ食て下さい、お茶は何うです、無ければ遠慮は無い然う云つて下さい』と一々酌いで廻りまして、大抵皆なに行き渡りますと、漸う自分も行厨を開きまして食始めました、處が折しも北手の方より砂煙を蹴立て、馬の頭を列べて二騎、ハイヨー、トツ〳〵トツ〳〵と驅けつけて參りました

○安東縣近事

▲司令官の來去 所親の如く獨立守備隊司令官高山中將は二十二日午前安東守備隊の檢閲を終了午後五時背に到り一泊二十三日午前北行赴任の途に就きたり

▲古藤署長出張 安東警務署長古藤誠藏氏は關東都督府警務署長會議列席の爲め二十三日午前十時三十分發列車にて旅順へ出張せり

▲日支合同祝賀 安東在住日支有志者は來る二十八日頃今回の休戰條約締結の爲め一大祝賀會を開催すべく目下準備中なりと

▲所長次席招宴 曩に安東領事森安三郎氏は滿鐵安東地方事務所長に囑託を受け山中繁雄氏又次席として着任したるが二十五日午後五時より料亭すみれに於て多數官民を招待して着任披露の宴を張る由

▲山梨縣人總會 安東在住山梨縣人會總會を二十三日午後三時より舊市街支那料理店鴨江券に於て開催したるが非常の盛會なりしと

▲慰問袋發送濟 安東基督教婦人會に於て募集したる軍隊慰問袋八個は十一月三十日迄長春へ向け發送すべき旨其の筋の命ありたるにより既に發送濟となれりと

外科一般 皮膚科 泌尿器科 花柳病科 安部修二
京城永樂町二丁目金光教會隣 安部醫院 長電話四一九番

十一月二十六日(火) 舊十月廿三日▲丁丑▲五黄 ▲滿△破▲友引▲大みやう

▲五黄▼ 動き迷ひを愼しみ翌日まで何事も緩延べて可ならん▲六白▼ 思ふ盡に捗る樣なこともあるべき日なり起業、移轉、移徙、命談、入門、採鑛、何ごとに用ゐてもよろし▲七赤▼ 大に吉慶を意味する日なり旅行、命件、緣談、拝賀、移轉等すべてに吉なり▲八白▼ 猛進を愼むべし但し萬事は吉▲九紫▼ 利益ある日なり緣談、作、起業、採鑛、轉居その他何事に用ゆるもよろし▲一白▼ 翌日まで待つべし▲二黒▼ よろづ控へ目にして宜しく殊に企談は控目に過ぐべし▲三碧▼ 何事も辛抱が肝要なり時節を待つべし▲四緑▼ 職に落ちぬことあるべしなり

演藝案内

壽館 本町二丁目 電話一〇五〇
▲素人淨瑠璃大會 二十三日晝夜二回間木戸錢代無料 廿三日出語り物 ▲御祝儀(入登)▲太功記夕顔棚の段(一二若)▲忠臣藏の段(梅治)▲御所櫻三段目(吉若)▲菅原四段目(魚水)▲佐倉(後作切腹)(呼子)▲阿漕の浦平次住(家千)▲若三番叟七段目八段(京堂)▲一の谷陣屋(一文字)▲朝顔日記宿(屋七五三吉)▲桂川連理の柵帶屋の段(掛合) 廿四日語り物 ▲御祝儀(入登)▲赤垣源造生立(一二三)▲彦山權現毛谷村(梅月)▲三十三間堂(千鳥)▲一谷(三葉)▲お駒才三鈴ヶ森(手鳥)▲布引瀧四段目(昭雪)▲沼津の里(一文字)▲先代萩御殿(天狗)▲壺坂三段目(かすゞ)▲忠臣藏七段目 掛合

有樂館 北米合衆國ユニヴアーサル會社代理店 東京小林商會特約 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話(第十番)七七番
◎實寫ユニヴアーサル週報第七十一號 ◎十一月廿一日より特別大映寫提供 米國ユニヴアーサル會社ブルーバード映畫
◎大滑稽 署長と火消 全二卷 米國ユニヴアーサル會社特作品 ロビンソン絶島漂流記五千呎 冒險家ロビンソンクルソは愈々本日より公開 ◎人情悲劇 耕す乙女 本編の主人公に扮するは本夏當館上場の日の出劇目に扮したるメリーマクラレン孃
◎最近の努力劇 大喜劇 新派新演 若萱 全三場 茶屋場より山の段迄

浪花館 明治町二丁目 長電二六〇番 大阪一流女義太夫竹本長廣大一座 廿三日より千秋樂 △御祝儀の入朝(入登)△加賀見山草履打(關市)△忠臣藏段目(長久)△白石噺七ツ目(梅升)△大功記妙心寺之段(長宮)△三勝半七酒屋(住若)△岸姫松三段目(花若)△梅川忠兵衛新の口村(仙龍)△源平布引瀧四段目(長慶)

黄金館 大然色活動寫眞會社京城常設館 話(晝間)二二六六 (夜間)二六三七
◎名篇名作 ◎愈々十一月二十一日より ◎問題の大寫眞 小年四月七日の新聞に掲げられた撮影中に汽上英三郎が人馬諸共數十丈の石段より墜落して大負傷せる決死的大撮影 ◎新派 **寛永三馬術** 四五郎一派大猛演 △前篇 柳生九郎大坪本流が市兵衛全四卷 △愈々世界に誇る大目探偵劇米國メトロ會社第一回特作連續大映畫 第七八篇四卷 **大秘密** ◎喜劇 **心の錠** 全四卷 快男子(ストロング)もベバリーも支那人に變裝して快活劇を演ず ●眠の眠 ●黄なる爪 ●偽使ひ ●水中の路 ◎悲哀劇 新派大一座 優深澤恒造關根達發

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社代理店 ●當る廿二日より新寫眞提供 ●寫眞 幾馬訓練 ●滑稽 凸坊アルプス ◎新派悲劇 **合せ鏡** 全三卷 南長之助一派出演 ◎喜劇 **電話結婚** 全四卷 米國キーストン會社傑作 ◎舊劇 **二葉の松** 全三卷 尾上松之助中村扇太郎一派合同

りん病 ばい毒 ルーデサック 京城永樂町二丁目交番北 京東ドラッグ商會 總本部

流經新藥レスメリン 月經閉止四五ヶ月以内に確實の流經を作用以て一回で容易く達し其効果他藥に優越す 一瓶三圓 (送料手數料金三錢切手添申越進呈) 大阪北區曾根崎上一丁目三六 常盤藥院

てんかん 小供のヒキツケ 病と腦神經衰弱で困難の方永年ナル專門良藥あり速に一劑でも試みよ 切手三錢送れば其詳細を無代進呈す 名古屋市中區南小川町 救生館

八木田博士御處方 島田博士御鑑查 アナタの胃病にはマーゲン 強胃消化錠 大阪市東區上本町五丁目 田畑保藥房

花柳病 外科專門 梅毒・痳病・泌尿生殖器病 睾丸病・肛門病・皮膚病 婦人病・神經衰弱・ヒステリー 京城南大門通農工銀行裏 司生堂醫院 電話三〇六五番 (606)

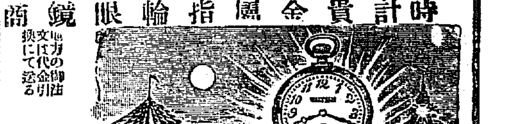
時計 貴金屬製作 販賣 仁川本町 岐阜商店

愛 ハ人生を美化し 百毒下しは人體を淨化す 治療及豫防 ばいどく そうどく しつけの良劑 各地藥店に販賣す 本舖 伊勢四日市市南濱町 加藤卒松堂 振替東京三〇四五 大阪一一七九五

京城太平町二丁目七十三(太平町大通り) 入院隨意 片山内科醫院 電話 片山 一九五一番

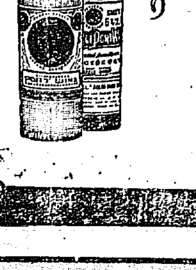
秋風立初め候 荒れを防ぎ色艶の美を保つ美顔ユーマーの御用意肝要と存じ候
月出でゝより 物皆美しくユーマー出でゝより人皆美し、自然の力、學者の力
美顔ユーマー 桃谷研究試驗所創製の美容液にして光榮ある御化粧料三十六種の内

時計 貴金屬 指輪 眼鏡商 地方の御注文は代金引換にて送る 京城本町二丁目 京城銀行前 三浦天龍堂 電話一〇〇二番



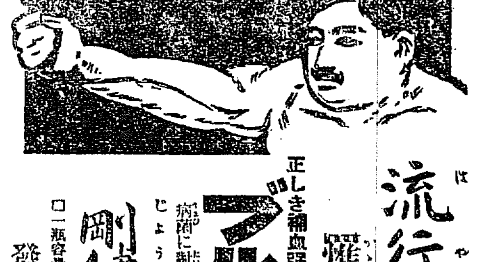
自神洋行 鐵 鋼材 浪板 平板 針金 洋釘 ペイント、油類一切 コークス、セメント 耐火煉瓦、モルタル スコツプ、シヤブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品 其他 山田帶革總代理店

長足の進歩を見よ!!
七大醫學博士の賞讃ある美味滋養の葡萄酒 赤玉ポートワインは一番良い葡萄酒との高評で其賣行は長足の進歩を示せり
朝夕の一杯は百藥に優る



今!好評嘖々たる オニタビは徹頭徹尾實質本位にて保温耐久木綿足袋の三倍以上とは已に世間一般の定評であります
衛生經濟を重ぜらるゝ皆樣 ゼヒ…御愛用遊ばされよ
特約販賣御希望の方は御照會をこふ

流行性感冒に罹り易き虚弱の人は 正しき補血强壯增進劑 ブルトーゼを服用して剛健なる身体を作られよ
病菌に對し絶大の抵抗力を有する
□一瓶容量二五〇瓦入(約半ヶ月分) □各地藥店にあり□
發賣元 大阪道修町 東京本町 藤澤友吉商店 說明書進呈



品質第一 銘酒瓶詰之一大權威 全道各地之需要激增
大阪府堺市 宅合名會社 攝津灘丁場吟醸

汽車發着 京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京仁線 仁川行 京元線(北行) 同(南行)

京城日報

京城日報
特派大使派遣
加藤高明子に內定

一

ヴエルサイユに於ける講和會議には、我邦より別に特派使節を遣らず、駐佛大使をして其場に當らしむることゝなるべしと傳へられたるが、其後各國の態度を見るに、いづれも其國第一流の名士を擇び、折衝の任に當らしむるの模樣あり、特に米國大統領ウイルソン氏の如きは、自ら歐洲に渡航し、自國の主張に向つて一大氣勢を添へんとするの意氣を示し居れるより、我政府に於いても式講和會議の開かるゝは、必ず明春に入るべきを以て、今日使節を特派せば、其期を失ふなきこと明瞭なるを以て、こゝに從來の方針を一變し、適當の人物を物色しつゝありしが、兼て民間にも議論ありし如く、加藤高明子の最適任なるを認め、略之に內定したることは、既掲東電の示す所の如し。思ふに講和會議に於いて我邦の要求すべきもの、提議すべきものゝ既に決定しあるべきは勿論にして、之を主張するに就ては、必ずしも特派使節の人物如何に由らざるべしと雖も、史上未曾有の大戰役の終局に臨み、各國が一齊に心血を濺ぎ、永久平和の基礎を確立せんと勉むるに當り、獨り我邦のみ平然として在外使臣に一任するが如きは、餘りに事を粗略にするの嫌あり、求めて列邦をして我誠意を疑はしむるが如きは、將來大いに妙ならざるものあるのみならず、我自ら我が發言權を輕視し、我體面を傷くるの虞なきにあらず。政府が使節特派の議を決したるは、極めて機宜を得たるものといはざるべからず。

二

加藤子が我外交家中一流の人物たることは、列邦の共に認むる所にして、我輿論も亦此人の上に注目したることは上に述ぶる所の如し。唯其れ加藤子は在野黨首領たるの故を以て、原首相は果して之を推薦するの雅量ありや否やを疑はしめたるが、首相は案外にも大腹中を見せ、此の世界の晴の舞臺に、此人を送るの決心を爲したるは、一段見上たる男振りといふべし。勿論國家の大事の前には政黨政派など、いふ差別のあるべき筈なしと雖も、人情として兎角陷り易き弊を、全然超脫したるの勇氣は、さすがに原氏の特異なる色彩を飽るに足る。況んや使節候補として某々有力者の暗中飛躍する者ありしの際に於ておや。吾人は此點に於ける現內閣に向つて頌辭を呈するの、決して阿諛追從にあらざるを信ず。

三

然るにこゝに一派の反對論あり。曰く加藤子は曾て南洋島嶼を聲明せるの當局者也、又南洋の島嶼を永久に占領するの意志なきを內約せる當局者也。此人を講和會議に派するは、行き懸り上、國家の利益にあらずと。一應其理あるに似たりと雖も、亦甚だ固執の見たるを免れず。加藤子が外相時代に於て聲明し若くは內約したることは、其時の事情然らざるを得ざるものありしがためなるべく、局面の著しく變化したる今日に於て、之が變更を要すべきものあらば、遠慮なく之を更正するも何の不可かあらん。試に思へ去年今月の交に於て、何人か今日の休戰條件を以て、進みて講和期に入るを想像せしものあらんや。外交は時局の變化に因りて當然變化せざるべからず。況んや青島還附の聲言の如き、支那に對する我誠意に外ならざれば、列國とは勿論支那との間にも何等權利義務の關係を造りたるものにあらず。又南洋占領島嶼の如き、之を放棄するも惜む所にあらずと雖も、濠洲政府が其占領島嶼を斷じて還附せずと宣明しあるの際なれば、我獨り之を放棄するが如き痴態を演ずべきにあらず。凡そ是等の事は我聰直なる政治家よりも、歐米列邦の方が最も能く其の處置の方法を熟知せり。之を以て加藤子の特派に反對するが如きは、たまたま我內情を現はすものならずばあらず、且夫れ米國大統領の如き、局面の變化を理由として、所謂十四箇條の基礎條件を自由自在に變更し、公然之を聲明して憚らざるもののあるにあらずや。而も大統領は自ら出馬して講和の成行きを監督せんとす、之を我一部政治家が固著せる見解に比することは、雅量の差啻のみならざるを見るなり。

四

今日の場合に加藤子が特派使節たるを非難するは、所謂島國根性の陋なり。加藤子たるもの亦宜然挺身して、國家の重任を双肩に擔ひ、世界の檜舞臺に於て十分の手腕を揮ひ、帝國をして泰山より重からしむる所なかるべからず。豫め一辭を草して以て之を送る。

現代印度の事情（六）
岡教遠師講演

壁に貼附けた牛糞餅は乾燥したものから順次に剝ぎ取つて焚くのである。兎に角印度人の風俗習慣は東洋人たる吾々から見ても大層異なつた點がある。夫を今日では系統の違つた文明を有する英吉利人に依つて統治せられて居る。印度の最高行政權は印度總督府に屬し地方を十五個の州に分つて知事、州評議會などがある。併し印度政府の行政其他總てのことは英本國に印度會議と云ふものがあつて是を總議し更に印度事務大臣が監督をして居るのである。其施政が當を得て居るか否かは別として、何分にも勝手の違つた印度に於て總ての事を英吉利人の思ふ儘に遣つて行かうとするのであるから印度人就中都會よりも田舍の者は少からず不便困難を感じて居るのは事實である。私が曾て彼地で旅行した際或地方の人々が非常に日本を賞め且つ羨ましがつて果ては返答に困る樣なことを云ふ者もあつた。教育の如きも大學はあるが肝腎な全國一般の子弟を敎へる普通敎育機關の設備として見るべき者は殆ど皆無である、又妙に感じたのは折角設けられた大學に工科と醫科だけは是を除いてあることである。從つて印度人は大部分無智蒙昧の民で殊に工業知識など零と云つて差間へなからう。若し印度の政治を日本政府の朝鮮統治に於る遣り方と比較したならば其間に餘程の懸隔のあることが判る。夫から私の仕事とも關係淺からぬ所の彼地の宗教に就て述べよう。今日の印度人は大多數（七分方）は印度教即ち婆羅門教を奉じ殘り三分通りは回々教である。婆羅門教は西暦紀元前既に佛教を壓迫して自分の勢力を回復した、其後印度教が國教となるに至つて佛教は南北の二派に分れ印度の中央から追はれて仕舞つた。又回々教は第六世紀の初め頃亞拉比亞から始まり所謂左手に經典右手に利劍で武斷的に諸方へ布教したが第十七世紀莫臥兒帝國の全盛時代此回々教は全國を風靡した。さうして印度教は妥協に依つて辛くも其命脈を保つて居たものであるが其後幾多の變遷を經て今日の狀態になつて居る。又此婆羅門教にも大體二ツの流派がある、即ち極端なる苦行派と極端なる樂行派とである。苦行派は來世を信じ現世に於て有らゆる苦行をする報酬として極樂に赴くことが出來ると信ずるのであつて、此派の僧侶等は先づ赤裸となつて牛糞の灰を身體全部に塗附ける、全で溝から這ひ出た猫の樣になつた上四方から火を焚く、是れは火の行だが又水行と云ふ方法もある、夫は水に浸かるのである。

墺匈革命現況

▽匈國皇帝退位　匈牙利國民は時局の進展に鑑み國民議會の成立を俟たず此際直ちに共和政體を宣布することし十一月十六日共和政體の宣布並びに在來の同國議會消滅の宣言を了せり是より先カール皇帝は十一月十三日附カロリー伯宛親翰を以て墺國に關する讓位と同一の趣旨に基づき匈牙利國政に對する參與權を放棄する旨並に國體問題に關し匈牙利の執るべき處置は之を承認する旨を聲明せられたり

▽墺匈政治整理　墺匈國より分立せる各國家の代表者は十一月十五日墺國外務省に參集墺匈國の下に於る共通政務の整理方に付協議研究し其結果從來の共通各省にて取扱ひ來りたる事務は各國家より派出の特別委員をして日耳曼墺太利國務大臣と協議して之を整理決裁せしむることに決し且關係各國家への引繼準備の爲め每週一回會合することとなれり

▽獨墺聯絡協議　獨逸新內閣の成立に際し墺太利外務次官（大臣アドレルは數日前死去せり）はハーゼに對し其外務主務として入閣を祝すると同時に日耳曼墺太利が國民會議の決議に依り獨逸共和國の一部たる民主共和國と宣言せられたるを述べ獨墺兩共和國合體の件並に共和に關する問題に付獨墺兩政府間に商議開始の希望を申入れたるを照し之に對しハーゼは獨逸新政府は講和に關する一切の問題に付欣然墺太利政府と協議し且最も親密に提携せんとするものなりとて墺太利政府代表者の伯林派遣を希望する旨の回電を發せりと

西伯利亞發展の好機（三）
小田榮

又此等は總て諸種の工業用材となるべく白樺の如きは其木皮頗る油分多く石炭代用として各種の燃料となり多くの汽車を走らせ工場の機械を動かしペチカ等の燃料として西伯利で一日も缺く可からざる必要材である大連邊りにて普通ハルビン材と稱し奧地方より搬出せらるゝ材木には北滿產のものもあるべけれど黑龍方面よりのものが大部分を占めて居る大村京城商議書記長は曾て西伯利旅行中移民により燒拂はれつゝある山林の光景を見て『野火千里』とやつて居られたが大森林になると三千里も三千里にも連亘して居るのがあつて野火は一箇月も二箇月も鎭火しない事も珍しからずとの事である先づ西伯利の森林は世界獨步で林產は確かに西伯利の主要產たるを失はない最近某露國製材業者は南支那に輸出を試みて好成績を得又日本に輸入して日本產の材木と競爭しても原產地の相場が非常に低廉な點に於て必ず勝利を贏し得ると意氣込んで居る兎に角沿海州の沿岸航路が今少しく進步し黑龍江と太平洋の航路の連絡が出來ることなるならば、西伯利の木材は必然我日本に輸入せらるゝ事になるであらう

▲畜產　畜產の豐富なる事は一九一一年の統計による西伯利よりの輸出高を見れば一目瞭然である即ちバター五千萬留、牛十九萬八千頭獸皮六百萬留、獸脂三百萬留羊毛四百萬留、鷄卵三十六萬プード（一プードは我約四貫强）である此外皮、骨、毛等も少くない輸出先は主として英國獨逸等である此等の輸出品は專業產出約三割農家の副業より產出せるもの七割强を占めて居る統計による露國の家畜頭數は（一九一〇年度調查）一億七千七百萬頭之れを種別にすれば馬三千三百十六萬頭牛五千五十八萬頭緬羊山羊七千九百十六萬頭豚一千三百四十三萬頭此外畜家とも云ふべき駱駝二百萬頭馴鹿五十萬頭である之を村落居住の人口百人に對する比例を示せば馬二十四頭牛五十三頭羊五十七頭豚十一頭に當る試みに西伯利丈けの數を調べて見ると馬六百七十萬頭牛八百萬頭羊山羊千萬頭豚百二十萬頭馴鹿六十萬頭駱駝二十萬頭である牧畜の最も盛んな地方はトムスク附近で全西伯利の約半數を占めて居る牧草が非常に豐富であり爲めに專業として牧畜を營むにも至極好都合である昨年迄イルクツク騎兵聯隊に一等大尉として奉職して居た邦人山田氏の如きは當時屢々自分の宿を訪ね西伯利牧畜の有望を說いた位である

史と傳說
宮中を肅正した小說家（二）

穆宗王が國中に美人を求むると云ふ事を聞くと、常に其の處を窺つて居た權大連、閔宗道、睦來善等の奸臣輩は、時期到來、奇貨措くべからずとし、女色に因つて其權勢を恣にせんとたくらみ、早速人を諸所に遣はして、廣く天下に美人を物色させた、處が人もあらうに張果と云ふ乞食の娘が美人だと云ふ事を聞いて直に其娘を引見する事となつた、元來が乞食であるから日に三度の食事も出來かねて、ぼろぼろの著物を著て、あかに埋まつて居るが、其天然の容色は實に絕世の美人とも云へる、所謂一笑城を傾け、二笑國を傾くるの佳色がある、其處で奸臣連は喜び、早速千金で乞食の娘を買取り、屋居に入れ、化粧をさせ、綺羅を著飾らせて見ると、眞に天下の絕色である、のみならず其性質も亦柔和怜悧であつて能く人々を服從させる、全く以てお誂へ向の上者である、其處で吉日を選んで宮中に連れて入り穆宗の前へ出す、大悅の穆宗は、一目見るや、忽ち色をなして早速宮外に追出すべく命令した、前の放縱な奸臣連は互に顏を見合せて、暗に宗の意中を疑つて居た。

口大連より
大町桂月

十七日（晴）王家店水源池、の約行ツ雨たに泥濘を衝いて國沿港見物、斯利一勞の子一枚都、四人にて參り申候人に湖水にて、長さ一里六丁、幅二三丁大連より四里の外山中に一の勝地を出現いたし居申候。雨は雪となり六花繽紛たる中に、舟を浮べ申候。路は月になり申候。國沿港山と戲れに月雪を眺めてはいなをす、りけり下の句を、やつさ、はなはだ妙こはないし合ひつ、お供御一笑申候

十八十九兩日は金州城方面をさぐり申候。昔ならいの勝跡ある城内の斜陽に立て申候。南山に登り申候。欧東州一の高山なる大和尚山にも登り申候。三崎山に立ち、登り申候。南山さも、何山も、皆國に通世氏に案内せられ申候

三崎山にての臆折

夕日影海にをくりて見返れば野にさしいづる望月の影

日清戰役の際に通譯の鐘崎、山崎、藤崎の三烈士が死刑に處せられし跡は、西門の外にありて、石碑立ち居申候。碑前に立ちて猪間氏三士の事蹟を語るを聞き、月ますます冴えて、まずまず明かに、碑面の文字を見出し、恰も碑石に感ある如く涙を出し申候

よく見ると三はむばかりに石に六みのをもてにうゆる夕月のかげ

ついでに申す、三烈士の死骸は、支那人に依りて刑後の翌に葬られたりしが、後日本の有志の手にて三崎山に改葬せられ、遂に三崎山の名を得、更に五年後東京に四十七士の墓前に改葬せられ候。今尚ほ三崎山にも、石碑立ち居申候。三烈士の碑の字あるを以て三崎山の夕嘲趣に申候。而してこの三崎山の碑字は大將の書する所。南山の北に相對峙いたし居申候

白雲莊歌三首　早田玄洞

白雲莊在京城北門、古來以名勝著焉。今屬神田氏（銀雄）之別業。多植花卉、又樣樓閣亭榭泉石。時詩諸名流、置酒歡會。諸名流寄題頗多、余亦徵其聲、賦之以贈。

白雲來去白雲莊。雲裡笑談倚夕陽。十里漢城渾似畫。米牛兒馬松龍擁道路皆行。偶聞雲卯鳴。

鼎鼎太元庵在晚。羽衣仙人獨吹笙。

參差樓閣白雲邊。買斷青山十萬錢。美酒千鍾留客醉。風流更醉花前。

婦人世界

□幼稚園の改良すべき點　佐々木吉三郎
□米國を鼓舞したる婦人の力　今西糸子
□生活革新の叫び　高信士生
□病人の食物（大根の料理）　夫人
□婦人內職廿五種あり
□古布を新しく使ふ工夫
□心と心（好評）　和田篤村
□赤繪の皿　海賀變哲
□手足の冷る人
□風邪に罹らぬ法
鬼の面の卷
長篇小說　靈鐘　小杉天外
□敗將を勵ます武士の母
□獨逸國內生活難の叫び
□歌御會始めに詠進するには
□十二月の家事
□五圓の歲暮贈答品
□花聟の選び方　矢島楫子
□花嫁花聟は結婚の目的を知るか
□西洋醫で容易に治らぬ特種の病を漢方治療法で治す
◎盲腸炎の治療
◎婦人病の治療
◎子供の蛔虫の治療
◎肺壞疽（呼吸から臭い息の出る）治療　村井弦齋

十二月號定價二十五錢　東京京橋區南傳馬町　婦人世界社

第二十七回新學期開講（入學の好機）
最新文章講義錄

眞に文章に熟達せんとせば天下第一等の文章講義錄を選ばざる可からず

創立後十七年の經驗有り最新の教授法により講述す
講師は一流の大家のみ也
添削無料▼機關雜誌無料進呈
見本つき規則無料進呈す

東京牛込矢來町三番　電話番町一八〇九番　日本文章學院

米國から來た洋服と靴が市價の三分の一で賣れます

高いくと云ふ中でも洋服と靴の高くなつた事は、目玉が飛び拔ける程高く、取分け木年など洋服は五六十圓以上靴は拾圓以上と云ふ値ですからこれでは米一升五十錢とした一錢の迄る日本では餘程成金でないと新調は困難でありませう、然し洋服でも靴でも日本の職工の工賃が高く一日五錢以下ではどんな人でも使ふ事が出來ません日本人向に全部再修致し大々的特價を以て賣出しまから何にせよ本場物ですから、地質の良い事殊に靴などの品質は日本で見られない様な品ばかりです、夫れに値段は市價の三分の一で御用が辨じられます。

再製靴の部
短靴一足一圓四十五錢　中一圓九十錢　上二圓五十錢
編上靴半長一足一圓六十錢　中二圓二十錢　上三圓七十錢
長靴一足三圓五十錢　本長四圓二十錢　上五圓
德川再製防寒編上靴九十錢一號一圓二十錢
護謨短靴一足一圓九十五錢
此外學生靴女靴小供靴等有之候　送料一足內地十六錢海外三十五錢

再製洋服の部
立エリ及折エリ　ヅボン襟り（上下組）一着五圓五十錢　中一着六圓八十錢　上一着八圓九十錢
背廣三ツ組一着圓以上貳十圓迄
オーバコート一着九圓五十錢　中十二圓九十錢　上十五圓以上二十圓迄
內地仕立インバネストンビ一着九圓九十錢以上二十圓迄
品質は全部セル、ホームスパーン、コントレ、絹綿共品ばかりです

出來合の部は御註文次第何着にても又何足にても即時御送附申上候　御註文は（柄合及寸法等）一週間乃至十日間御猶豫願上候　洋服は上著の背丈け、行、腰廻り、ヅボンは股下の寸法御記入相成柄合及御好の色合等御申越し下され候へば成可く似よりもの御送附可申候　靴の寸法は足袋の文數足の特徵御申越願上候

御註文に就いて御寸法の計り方

東京本鄉區湯島天神町一の六六　再用商會　電話下谷七貳貳貳番　振替東京四三三二一番

英語五十字會
商業英語二千字會

發明的創案の新研究法（一日費用一錢以內）

日本に初ての最も成功せるカード應用追究累進主義英語熟達法を採用して社會の優勝者たれ成功者たれ

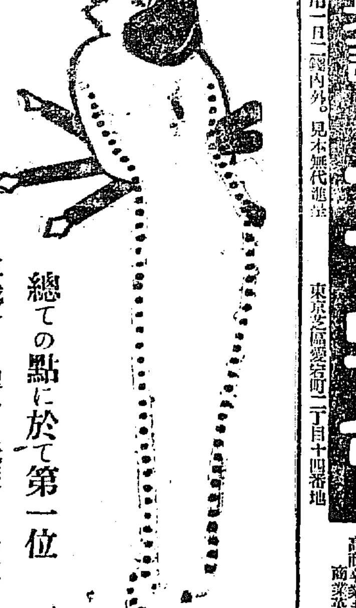
先づ見本を請求（無代進呈）東京芝區愛宕町二の十四

英語五千字會（多く見出された英語の短期學習）千字で充分なる商業英語を迅速に學習し商業界に立身出世の最大要素を獲得せられよ
（中學上級生以上大學卒業まで。程度商業學校上級生以上商業英語二千字會）

實用一日二錢內外。見本無代進呈

東京芝區愛宕町二丁目十四番地

SSS



總ての點に於て第一位

卓越せる品質　低廉なる價格
廣大なる販路　著大の製造高

總じて東洋第一の
サンエス萬年筆

價金壹圓八拾錢以上―全國到る處の文具店にあり

本舖　東京馬喰町　細沼淺四郎

長田幹彥氏の繪入小說
不知火

四版も賣切れとなりました發賣以來一月にもならないのにモウ五版です驚く可き勢ひです

美しき布表紙の上下二册を一つの箱に入れて　定價貳圓五拾錢　送料拾錢

東京市芝公園　玄文社　振替一〇七七

◇我講和條件審議 目下三委員にて研究中

帝國政府の主張す可き講和條件に就ては既に外務省にて大體案を立て過般來の外交調査會に附議し協議中なるが米國大統領の聲明せる所謂十四箇條の基礎條件は頗る微妙の問題にて此決定は國際政局に變動を來し從つて帝國政府の利害亦甚だ大なるものあり愼重審議遺漏無きを期する必要あるを以て外交調査會にては特に内田、伊東、牧野の三委員を舉げて委員會を組織し詳細に調査研究せしむる事となり目下三委員にて研究中なるが決定次第更に外交調査會に附議し我講和條件の確定を見るに至る可し(東京特電)

◇參加國際公法學者 立作太郎博士に内定

帝國大學敎授法學博士立作太郎氏は今回の講和大使一行に國際法學者として加はる事に内定せり尚目下滯英中の蜷川法學博士も一行に加はる事となる可しと(東京特電)

◇獨逸過激派運動熾烈 現社會黨新穩健派の對抗策

二十二日ストックホルム發倫敦電報=多額の資金を所持せる過激派運動は今やストックホルム、伯林、佛國等各地に蔓延しつゝあり彼等は獨逸今回の革命運動が過激派的に遂行されざるを不滿に思ひつゝあり露國國境附近にある過激派は最近日獨間に秘密條約締結されたる結果露國を改造して日露獨間に軍事同盟を結ぶ豫約を爲したりと稱し居れり現に獨逸は澳、獨に赤旗新聞の設立許可を見たり這は現社會黨の新穩健派が過激派に對抗する爲めにして過激派思想を獨逸が有するに於ては平和條約が獨逸に不利なる結果を及ぼすが故に獨逸は何處迄も穩健なる革命を遂行せざる可らずとして社會黨首領シャイデマンを初め獨逸政府有力者は各新聞紙に前記條約成立を打消しつゝあり而して右は過激派が目下行はれつゝある社會黨統一運動を不成功ならしめ獨逸政體の確立を阻まんとする爲めの手段と認むと稱し居れり(東京特電)

◇獨國民議會召集

伯林來電=獨逸内閣は帝國議會を再開する能はざる旨を通告し國民議會を召集す可き旨聲明せり(倫敦電報)

◇獨逸總選擧形勢

獨逸有産階級は昨今憲法制定の爲め國民議會を召集せん事に腐心しつゝあり是れ國民議會に於て自黨の代表者多數を制し社會黨の優越なる勢力を破壞せんとの希望より來れるなり宰相エベルトは來年一月を以て總選擧を舉行する旨布告せりシュルナルシ通信員の所報に據れば目下の形勢に於て社會黨多數派の優勢は否定す可からざる事實なるが如し(巴里電報)

◇潛航艇順次引渡

二十隻の獨逸潛航艇は水曜日(二十日)チルホイット提督に引渡されたり更に二十隻は木曜日(二十一日)又二十隻は金曜日(二十二日)に順次引渡さる可し(香港電報)

◇英司令官獨艦主腦會見

英國全艦隊司令長官ビーチー提督は二十一日午前九時三十分將に引渡されんとする獨逸艦隊の主腦者と會見せりと(倫敦電報)

◇佛軍君府占領

佛軍は君士丹丁堡を占領せり(巴里電報)

◇聯軍諸地點占領

聯合軍は漸次諸地點を占領しライン河に近接しつゝあるが既にブラッセル、アントワープ、マリネ、メッツ、アロス、モンメヂー、ザールブルヒ、コルマー、ミユールハウゼン、ザベルン、マールキルヒ、ノイブリーザッハ等を占領せり(香港電報)

◇白皇帝入城式

白耳義皇帝は皇后同伴二十二日舊國都ブラッセルに於て盛大なる入城式を行へり國民の熱狂其極に達せり(倫敦電報)

◎英國禁輸改正

[illegible]輸出を禁止[illegible]したる[illegible]及び同製品クレオソート並にクレオソート油及びクレオソー[illegible]製品、總ての金屬の硝酸塩(別[illegible])[illegible]に禁止さ[illegible]ここに四十三度より少からざる[illegible]香酒精を含む混成物、アルコール[illegible]岩塩全部又は一部セルロイド製[illegible]て(ハ)項に移されたるもの、中[illegible]商品、三炭酸曹達其他各種の要なるもの左の如し[illegible]ゴバルトを含有する混成物サルチール酸及び同製品ソヂウム[illegible]

◇國際聯盟と政綱

倫敦發來所著=十一月二十二日ロイドジョージ、ボナーロー兩氏連名にて國際聯盟に關して大要左の政綱を發表せり(東京特電)

最近科學の發達に由り將來の戰爭は益慘烈を極むるに相違無し之を避ける爲めには國際聯盟は最も必要なり武斷主義に對し社會人類を擁護するのみならず列國に對し双互間の平和と諒解を增進するものと認むるが故に吾人は其國際聯盟の成立を圖る爲め最も熱心なる努力を惜まざるものなり

◇海洋問題とウ氏

海洋の自由に關する約束は來る可き講和會議に於ける論爭の第一主要問題たる可くウイルソン大統領が渡佛する主要なる理由は同問題に關するものなりと大統領の友人等は聲明せり(華盛頓電報)

◇米國新海軍計畫

米國新三年海軍計畫は超弩級軍艦十隻、戰鬪巡洋艦六隻、小形軍艦百四十隻の建造を規定せり(倫敦電報)

◇オムスク政變眞因

ホルワット將軍の補佐官クレウムの談に據ればオムスクの政變は西伯利軍の將校がアブクセンチエス、センジノフ外二名の閣員を捕縛せるに始まれるが該將校は直ちに處刑されたり閣員内に絶へず意見の衝突あるは面白からずとてホルワット將軍に全權を與へたるが是政變の眞因なる由ホルワット將軍は新政府を認むるに決せりされど双方未だ圓滿ならずセミヨノフ將軍獨立せるも全然孤立の姿也(浦鹽電報)

◇南北議和會議

南北議和會議は聯合會なる名稱の下に南京に開かるゝに内定せり(北京特電)

◇憲法起草委員選擧

二十三日參議院開催三十名の憲法起草委員を選擧決定せり(北京電報)

◇内閣同意案行惱

正式内閣同意案は又復行惱み二十二日國會に提出の運びに至らざりき(北京特電)

◇廣東國會の決議

廣東國會は二十日兩院聯合會を開き吳廷芳氏より北方國會及び總統を取消すに非ざれば斷じて和議に應ぜざるの討議を提出したるに滿場一致可決し廣東國會は直ちに右議決を軍政府に通告し適當の處置を執らん事を希望せり(北京特電)

◇梁啓超

梁啓超氏は二十二日夜入京徐總統に謁見の上渡歐に關する打合せをなせり(北京特電)

◇植民地豫算終了近し

拓殖局に於ける植民地豫算の査定は立花次長病氣の爲め暫時遲延せるが既に全快登廳と共に續行せる結果朝鮮總督府及び關東都督府の概算は既に終了し順次夫々主計局に廻付目下臺灣總督府の概算に對し査定中なるが茲兩三日中には終了すべく次いで樺太廳豫算に移る順序なり(東京特電)

◇實業教育現行規定改正案

文部省は實業教育復舊の爲め現行規定を改正し從來の制度を全廢し總て本科と義務教育修了者を直ちに入學せしめ得る事とし一方實業學校に於ける修業年限を一定せず教育程度及び内容により任意之を定めしむる方針にて目下調査立案中にて近く省令を以て右公布ある筈(東京特電)

◇壬生武官南下

壬生東宮武官一行は二十四日午後六時安東通過内地に向ふ旨某所に通報ありたり(安東特電)

◎西部米兵移動 東部戰線警備

佛國方面にある米國兵は東部戰場にある獨逸兵撤退後の警備に當るべく同方面に移動すべし即ち西部戰場にありたる獨兵は休戰條約締結と共に直ちに撤退に著手せるも東部に於ては獨兵に依りて同方面の秩序維持されありし爲め其後獨兵の撤退は同方面の秩序回復次第撤退のことに休戰條約修正されたる爲め獨兵に代るべき武力を送る必要あるを以て佛國方面出征の米軍若干は既にカテガット海峽の航路も自由となれるにより海路輸送を行ひ波羅的海のリガ港より東部戰場に送り黑海方面よりの英佛軍と共に其任に就き以て獨兵の撤退を迫ることゝなるべきも露國を敵とし武力干渉を試むるにあらず單に秩序維持の任に當るべきものなれば六十萬と稱するが如き多數の兵力を移動せしむるが如きことなく秩序維持に足るべき程度のものなるべしと

◎掠取らぬ西伯利亞經濟援助 =支那借款の今後と日本銀行の利上げ= 井内鮮銀調査局長の談

東上中なりし鮮銀調査局長井内勇氏は一兩日前歸京したるがその談に曰く

今回の東上は御承知の如く此の夏以來久しく予は

▲西伯利亞に出張し彼の地の經濟事情等を幾分承知し居れるを以て中央要路に實情陳述旁々他の行務を便ずるためなりき東京にては大藏外務陸軍各省を歷訪し更に西伯利經濟委員長目賀田男その他をも訪問したり、西伯利に於ける物資の缺乏に就ては今更架説の要なし、その窮狀を救ふべく前内閣時代に同地援助委員も組織されたるものにして現内閣に至つても繼承し最近委員會も事務官を西伯利に派出する等相當の準備は講ぜられつゝあるらしきも兎に角國家の力を以て極めて

▲大規模に物資の供給援助を行ふことゝならば各方面の手續き順序を要し容易に事は捗らざるもの・如しこれ予等の事業進行の遲滯を甚だ感ずる點なれど當局としては多額の資料を西伯利に輸送するに當りては國内物資の需給關係を顧慮せざる可からざるべく結局西伯利物資供給は政府に於て實行すべきもその時期は尚ほ早急なる能はざるべき乎、世上に現内閣は對支借款のすべてを打切るべしとの説ありその眞僞は予等の知る能はざる所なれども予の聞知せる所にては今後

▲日本に於て引受くべき支那借款は純然たる經濟借款にして南方討伐費等に流通する疑ひある者は名目いかに經濟借款なりとも之れを引受けずと云ふにあるもの・如し、從つて今後吾國との間に於ける支那借款の成立は決して多きを望み能はざるべき乎、唯既に借款契約の成立せる鮮銀關係の吉會鐵道並に滿蒙支の鐵道借款は目下東京にて政府と銀行團との間に交渉を進められつゝあるが多分繼續せらるゝ事となるべし然も借款の繼續に就ては條件比較的窮屈峻嚴となる模樣なり、日本銀行の利上は歸鮮の途中にて承知したり内地の金融界は前途講和來による變化を相當自戒し居れどもさまで日銀利上を必要とする程の程度なりとは受取れず、思ふに日銀當局者は此際

▲利上を行ひ置き今後來るべき變局に對應せんとするものなるべく、その結果若干程度の被害を一般に與ふる事は避け難からん

◎墨國幣制改正

[illegible]るに決定せるが同國の幣制は[illegible]と同じく殆んど統一なき有樣にして單に表面上より見れば同國は三年前迄に金貨本位制となり居るなりされど實際に於ては是迄金銀並び流通され同國の幣制は甚だ紛雜の狀態を呈したりしが戰時銀の甚だしく昂騰せるを好機とし銀を賣却して金本位の基礎を強固にするは幣制統一上に於て賢明なる方策とすべく又世界大戰爭後は益々米國の經濟的地位を高むるを以て同國と密接の關係を有する墨國が共同一幣制を採用することは最も必要とすべく旁今回愈金本位制を勵行するに決定せるものなりと尚日墨貿易額は極めて少額なるも今後兩國の經濟的關係は漸次密接ならんとせるを以て墨國に於て日本と同一の幣制を採用するは我國に甚だ好都合なるべしと

◎米鐵道隊長

米國鐵道隊技師スチーブンス氏一行は廿二日午後六時半安奉線にて著奉少憩の上哈爾賓に向け出發せり(奉天)

◎東拓收納量

東拓本年の小作料收納は臉味を了し總約三十四萬石を收納する豫定なるも尚ほ入手せるものは約二割弱六萬石以内なりと

人事消息

▲鐵道院石川技師一行 二十二日午後奉天通過大連に向ふ(奉天)
▲大宅伊敏氏(京城地方法院水原支廳判事)二十四日夜入京小知火へ
▲福士德平氏(釜山商業學校長)同上
▲末田新松氏(海州農業學校長)同上山本へ
▲宗像十郎氏(八幡製鐵所監査課長)二十二日退京平壤へ

◇講和大使人選如何 或は内田外相簡派か

講和大使の人選に就きては世說或は西園寺侯、牧野子、加藤子、内田外相等を擧げ殊に加藤子の如きは確信す可き筋にても略同氏に決定せりと推す可き理由ありと傳へられつゝあるも一面有力なる反對あり一方原首相は外交調査會委員中にも亦他の有力者中にも故障無き適任者を見出し得ざる今日寧ろ聯合國多數の執れる方針に從ひ我國にても外相たる内田子を簡派するを以て最も適當なる措置なりとし目下然る可き各方面の意見を徴しつゝあり愈外相簡派に確定せば外相不在中は原首相自ら外務の事務を見る可しと(東京特電)

◇法相平沼氏乎

講和大使として内田外相參列の場合は原首相兼攝外相たるを以て旁十二月早々專任法相親任式舉行さる可く右法相は平沼騏一郎氏なる可しと(東京特電)

◇支那講和使顏觸

支那講和使は正使として陸徵祥氏副使として佛國駐劄公使胡維德氏英國駐劄公使施肇基氏參列す可く其他財政部外交部より少壯官吏十數名隨行すべし一行は本月下旬北京發渡日打合せの上渡佛す可し(東京特電)

◎烏瞰錄◎

頃日支那を視察して歸つた國分司法次長官の話に依ると北京に滯在中獨逸休戰條約調印の報が傳はると聯合國民の狂喜振りは甚だしいもので獨逸公使館前の獅子の像を一夜の内に眞黑に塗り潰した▲處が翌日になると和蘭人が之れを眞赤に塗立てた此赤いのはお祝ひの意味とかで聯合國人殊に佛蘭西人は怒るまい事か遂うとうブチ壞して了つた▲又此樣な騒ぎは東單牌樓街にも起つて例の北清事變の際獨逸公使ケットレルの殺害された事を記念するためのケットレル碑破壞に向つたがケットレル碑は大理石で頗る頑丈に造つてあるので壞れたらこそ▲終に支那側が中に這入つて上部丈けを壞し之を戰捷記念碑に造り直すとか云ふ事で納まり取壞し中であつたと▲大騒ぎと云へば今月の九日は丁度紐育の國旗日中の『日本日』だつたので華府から態々石井大使も出席した▲而して三萬人の群衆の前で演説をやつて大喝采を博したが其れは先づ好いとして頗る振つたのは例の三浦環女史で▲お得意の日本服で『君が代』と『米國々歌』と『ホエン、アワー、ボーイス、カム、ホーム』を獨唱した▲劇る、許りの大喝采で司會者ウイルソン君は大ニコ〳〵で女史の手にキッスをやつた▲其れから日本から來た原首相の祝電が朗讀されてウイソン君の發聲で『日本萬歲』を三唱した▲其時には大和育ちも俄然日本の光景に變つたやうな氣がしたと同地から通信があつた▲國旗許り掲げて蟄杖突いて他處行きの祝意を表した京城も一番奮發して大祝賀會でも開いては何うだらう。

株式名義書換停止公告
今回大日本製糖株式會社ト合併ニ付同會社新株式割當確定ノ爲メ來ル十一月三十日限リ當會社株式名義書換停止致候
大正七年十一月廿五日 朝鮮製糖株式會社

大阪自動車株式會社
ウエリー・クラント 總代理店
スポーチングカー
貨物用車
其他高級自動車
各種着荷
大阪市東區堺筋高麗橋角 電話本局一七一一番

大藏大臣免許
帝國公債割賦販賣
東京市京橋區日吉町拾壹番地
帝國公債株式會社

=休戰と當株=
峻嚴なる休戰條約も遂に獨逸の屈從により=武力戰は近く終熄せんとし次で來るものを經濟戰なりとす=西歐各國は其快報を謳歌し財界頓みに活況を呈す=吾財界の刺激も亦蓋し意表の外なるべく諸株暴騰の序幕は業に已に開かれたり=弊社は此に取引所株に着眼し第十回該株買付に對しては既に多額の配當を爲し今又第十一回を組織し依例巨利を贏得ん=逡巡は噬臍の悔を貽さん同士速かに來つて此千載一遇の好機を逸する勿れ
■申込期間十一月三十日■加入金一口五十圓
日本信託證券部
二十二同株式(大新)買同氣會
▲會則内容説明書贈呈す▼
大阪北區堂島濱通一丁目廿一 電話北二二九〇 振大四五六九

自動車運轉手技師販賣員短期養成●校外生と雖莫大の收入あり
東京市京橋區 大阪西區市岡
東京 大阪 自動車學校
生徒募集 校外生及校内生三百名何人も入學許す規則雜誌送與

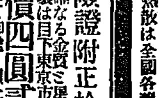
講和と株式
=成金たるべき唯一の途 無代進呈
平和來る!! 講和來る!! 暴惡獨逸は終に講和を提議せり。戰爭より平和へ!そこにあらゆる經濟界の前途たるや、風か雨か。いづれにせよ大株式界の亂調があらねばならぬ。殊に我が波瀾を捲起さずば止まぬであらう。この時代に革新期こそ吾人に執つて一攫萬金を獲得するの絶好機である。來れ株式市場へ!! 然してその方策は弊店調査部が苦心研究せる『講和と株式』此一卷に說きつくせり。希望者申込次第無代進呈す。
東京日本橋區坂本町十八番地
沖野株式仲買店
電話浪花(長)九三七番

成金の研究

◎謹告
▲愈々寒氣が襲來しました
▲米價調節の聲は一轉して炭價調節の叫となつて居ります
▲如何にして寒氣を凌ぎ又何を以て炭價を調節するかが刻下焦眉の社會問題であります
▲弊店が採暖裝置として最も經濟的衛生的にして且便利なる宮崎式ペーチカを御推薦するのは獨り個人經濟の爲めのみではありません
京城府漢江通八番地
宮崎組 宮崎吉太郎
電話龍山五四二番 振替口座京城五四〇二番
説明書贈呈

弊堂創立明治二十八年
各時計 蓄音器 卸商
貴金屬製作卸所
TRADE MARK K
京城黃金町二丁目
喜多金光堂
電一〇一五・振替京城七八二一

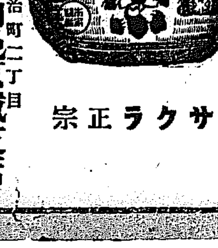
流行性感冒には
ツムラの消熱散
▲流行性感冒(インフルエンザ) ▲頭痛 ▲四季の感冒 ▲氣管支加答兒等に特効あり
試驗は朝まで タッタ八時間
●定價十錢、廿錢、卅錢、五十錢、壹圓
消熱散ヘルプ本舖 東京日本橋本銀町三 振替東京八六四番 津村敬天堂
●消熱散は全國各藥店に取次販賣す



保險證附正拾八金寶石入指環特價提供
正價なる金質と星の如き光澤を有するM式ダイヤ入指環は目下東京市内大流行品 今回特に景品として金屬製七ツ道具進呈 御注文は指の太さをコヨリにて御送り願上候其他時計寶石ダイヤモンド入指環眼鏡製作品ヒスイ珊瑚類何品に不拘特價販賣仕候
特價四圓貳拾錢
東京淺草區馬道町一丁目
電話下谷七四五五番・振替東京貳四九八七
佐野正地方部

銀鉛鑛 亞鉛鑛 鑛石買入
御賣渡者に對し精々御便宜取計可申候多少に不拘御申越相成度候
京城黃金町二丁目百四十八番地 商品陳列館の下
信託業 鑛業 明星商會
電話一四六四番

兵庫縣灘魚崎
山邑太左衛門釀造
宮内省御用達



サクラ正宗
櫻正宗櫻魂發賣元
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話長八四九番一四五四番 振替貯金口座京城七五五番

小鳥捕用
カスミ網
高さ六尺 三尺棚 横市三間 一圓半
高さ六尺 三尺棚 横市五間 四圓
(極上絹糸製)◎其他雁鴨兎網無雙網等種々あり
京城永樂町二丁目
吉備商會
電話三一四番 振替京城四三六番

資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千參百參拾萬圓
總預金 貳億七千萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目 振替貯金京城一〇六一番 電話二三一七番
頭取 佐々木勇之助
支配人 竹村利三郎

國を除く露領亞細亞、露本國其他の歐洲諸國及び地中海沿岸諸國向
及びグリセリンを含有する製品　ナフタリン及び同化合物並びに
ナイト及び同品を含有する混成品、硬化油脂、標準強度を超ゆる
品アミール、アルコール、ロッグウッド（削片、搾出品及び製品）
又英國領土保護領以外への輸出を禁止せる（ロ）項に掲せし品目にし
は合成サファイヤ、コバルトの酸化物並に鹽及び同合化物又は

○平和を迎へて……

各國民にどんな悦びと希望とがある　皮肉な獨逸人の御挨拶!!!

平和の敵遂に屈し輝らしき平和の時がある、この世界交歡の日に際して各國民に如何ばかり思念がある、希望がある……今在京の各外人を訪ぬれば、彼等曰く、

▽無上に結構だ

英吉利　スミス氏談

自分は英國人として殊更他の英國人と異なつた意見を持つて居ない全英國人が勝利を得た事を喜ぶ樣に自分も愉快である四箇年間の長日月歐洲の天地に妖雲が蔽つて居たのが一時に晴渡つたのであるからこれに越した結構な事はない

▽只非常の歡喜

佛蘭西　ブーシエー氏談

これは非常に難しい御質問でありますが、私は佛蘭西人を代表して何も申上げ兼ねます只一個の佛蘭西國民として只々非常の歡喜と非常の滿足を感ずることを申上ぐる外はありません

▽領土奪還の喜

伊太利　チモパストレリー氏談

正義人道の爲め墺匈國と干戈を交へ遂に我舊領土を奪還したのは快心のことで此の舊領土内には森林の深いトレンチーノ並にアドリア海沿岸の一大商工業地たるトリエストなども含まれ事實上アドリアチック海を支配し得るやうに成つた爲め極東の日本とは自然萬端の交渉が深くなろう一面我國内の諸會社は目下孰れも盛んに増資を行ひ戰後の經濟戰に當る準備中であるから將來歐洲の經濟界に一大雄飛を試む可く此際日本は一層伊太利に注目を拂つて戴き度い

▽兎に角愉快だ

西班牙　ホセムニヨス氏談

戰爭は個人の病氣と同じ樣に國家の病氣である而して病後攝養如何に依て戰前より丈夫になる人と非常に衰弱する人とがある國家も其通りである戰後果して歐洲各國は悉く隆盛になるか甚だ疑問であるが自分としては一層に發達してくれる事を望む兎に角幾千萬人の流血を見た戰鬪行爲は休止になつて平和を向へんとする事は大變愉快である

▽三問題の解決

露西亞　トドロウヰッチ氏談

平和になつて三つの問題が解決される、一は社會問題で二は國家問題、三は我露西亞の秩序恢復である、デモクラシーの勝利は即ち前二者を解決するものであるから大いに祝すべく而して露西亞は聯合國の力に依つて救助される新しき露西亞を統治する政府は勿論共和政府でなくてはならない

▽講和は不滿足

獨逸　ローエン氏談

自分は餘程長く本國の新聞を手にしなかつたから事情は詳しく知らぬが今度の戰爭はヒンデンブルグが何でも最後の勝利を得ればよいと云ふ勢ひを以てやつた仕事である而して最近の社會黨の事情も全く自分には不明である今後我國は如何なる方針に向つて進むかは豫測は出來ないが今回の講和は自分に取ては不滿足である且つ民主主義の國家が勝利を得たのであるが日本に取つて如何なる結果を及ぼすべきかといふ事は問題である

▽自治を與へよ

印度　アタル氏談

政治方面の問題は頗る愼重を要し今簡單に申し上げ難いが私等印度人は一樣に自治政を要求する其他には何等の慾望もないのです

□宮中の新嘗祭

聖上陛下出御

廿三日宮中新嘗祭の當日は午後二時神殿の裝飾を奉仕し午後七時各皇族、有爵、帶勳者著席の裡を天皇陛下には内殿に進御告文を奏し給ひ列席諸員の拜禮ありて翌廿四日午前一時陛下には再び出御内殿に進御黑酒、白酒及び神饌を御手づから皇祖皇宗に供し給ひ尚御前にて供御を召させられたるが皇后陛下には同御座所より立たせられ御遙拜を爲し給へりと拜承す（東京特電）

★コルチャック

全露政府の執政官に任ぜられたコルチャックは長く露國黑海艦隊司令官の地位にあり精力家として、愛國者として一般に令名あり第一革命の際には臨時政府より米國に派遣され亦歸りて今政府が聯合國の承認を求めんとするに當り召還され遂に今日の要職に坐し全露政府に得た、彼は今や彼等の間に大いに勢望ある行政者として大なる期待を持たれてゐるのだ、エコナに見ゆる樣な異樣な彼の風貌を見よ、これからの露西亞に何物かが齎し相な男だ。

○炭の不足は無い

價格の高低は遽に判定されぬ　商人の胸算用は頗る素人の期待を裏切る

◇米鹽に亞ぐ問題なので當局は……

近時諸物價の昂騰に伴れて木炭價格も著しく騰貴し今夏八月米價暴騰人心不安の際一部の商人が釣上を策したので遂に一俵一圓六十錢中には七十錢台に入れば二圓四五十錢にも上らんとす形勢であつたので大いに世人の注意を惹くに至つたのであるが朝鮮の如き寒地にあつては

◆燃料は　米鹽に次ぐ必需品で之が缺乏を來すが如き事が到來したとすれば眞に重大な社會問題を惹起する事となるので爲政者も此問題に就ては深甚の注意を怠らなかつたのであるが總督府當局では木炭調節問題に就いて次の如く語つてゐる　朝鮮は木炭の需要地で年々内地から二百萬貫乃至百二三十萬貫の移入を見てゐるが幸ひにして年々鮮内の木炭生産高を増加する故であらうが需要は増進して居るにも拘らず内地からの移入は年々減少の傾向を示してゐる今夏木炭の異數の騰騰を示し人心

◆不安の　念に驅られた際は當局で這は打捨置く可き事ではない國民生活上の重大な問題である農商工部では調節策を講ずる事となり研究の結果兎に角木炭は米の如く一年一回定量の生産物ではないから官廳の手で能ふ限り多量の生産を爲すに於ては自然市價の低落を示すであらうとの見地から第一に江原道春川、咸南安邊、全北茂州、全南智異山等の國有林及び大學演習林を伐採して炭を燒く事とし大學側へも事情を具陳して了解を得伐採の承諾を受け第二には薪炭の

◆代用物　即ち籾殼、鋸屑の使用ポプラ、アカシヤの速成樹伐採煉炭の生産を增加する爲特に平壤鑛業所とも談合の上此方も本年は民間へ多額の賣下げをする事になつてゐる第三には最も重要な輸送運搬で鐵道當局へ交渉し薪炭は成る可く運賃を低減し貨車の配給に就ては他の物に對し優先權を與へる事となつて居る又其外に不自然的上抑制を嚴重にし場合に依ては地方費を以て木炭生産費の一部とする考へであつた而して之等の計畫は着々歩を進め此初秋以來

◆官林で　炭を燒いて居るが漸時其の効果は確にあつたと見えて漸時需要期に入るにも拘らず價格は低下して現今一圓二十錢位を唱へて居る尤も一面には暴騰の聲で一般が一時に多數の買溜をしたためでもある然し今京城には多量の炭があるとは云ふ事が出來ぬ何故なれば需要地の價格が低下すれば地方に在品があつても採算上商人の算盤に合はぬので出拠つて來ぬのであるつまり需要地の價格の騰貴するのを品物を抱へて待つて居る譯である此の商人の

◆胸算用　なるものは又頗る素人の期待を裏切るもので品物は増加しても直ちに價額は左程低下しない事になる又折角生産增加に努めても品物が捌けないと云ふ結果を見る樣な事は無いかとも心配せられる殊に可笑しいのは鐵道の方で折角貨車を廻しても商人は不利益と見れば積込を差控へて了ふ結局親切も無になると云ふ有樣である然し斯樣な事は一時の仲介者の策でドシ／＼

◆生産を　增加せしめるに於ては價格を低下せしめる事になると思ふ然し之を何程迄低下せしむればよいかと云ふ事は問題で今日勞銀及び運搬費の騰貴を來してゐる際程度以下の下落は今度は生産者に損害を蒙らせ從つて生産を減少する結果になる要するに今日朝鮮として全體から云へば炭の不足は無いので價額の高低に至つては遽に判定は下し難いであらう

○後盾に退役の憲兵大佐

博徒多數檢擧

警視廳にては仕立屋銀次（五〇）の小分六十餘名を捕縛檢擧し二十二日悉く收監せるが彼等の後盾には大正五年退役の憲兵大佐某あり當局も一驚を喫したる由にて右憲兵大佐も近く捕縛さる可し（東京特電）

○故成田校長

葬儀

會葬者二千餘

◇涙新しき雪の日　京城高等女學校長故成田忠良氏の葬儀は寒き廿四日午後一時より若草町本願寺境内に於て盛大に執行された午前十時迎僧は自宅にて棺前讀經をなし直ちに出棺黄金町通を經て本願寺に入る午後一時式は位牌を正面として棺を安置し黑白の幕を張廻した境内にて松原輪番を導師として以下役僧十數名にて莊嚴に行はれたるが

◇故人を　偲ぶ内鮮の紳士淑女を始め教育界の人々は全部卒業生、在學生、淑明女學校生徒等その數實に二千人餘の多數でさしもに廣い境内は人に溢ちた曇り勝ちな空と鐘の響き棺前の黑いリボンに淋しい花環の花片を震はして居る四奏樂が終つて吊詞が始まる松永道長官、金谷府尹、職員總代坪内教頭、生徒總代矢野香、卒業生總代渡瀨文惠、學校組合議員總代大垣丈夫氏の吊詞は何れも句々

▼悲痛に　涙に咽ぶ者が多かつた中にも生徒總代矢野香嬢の胸をつく涙に聲を曇らせたるに師弟の情の思はれて滿場痛さして聲を呑むかなしい四邊を寄せた人ふ故人の死を悼みて吊電を寄せた人も百に及んだ再び鐘は悲しく鳴つて二千の瞳に涙を誘ひ燒香となる子息父君、夫人の姿に女達はまた新しい涙に暮れる斯くて二時涙の式は閉られたのであつた

◇故成田高等女學校長の葬儀‼（廿四日若草町本願寺にて）

○一時間に百哩

倫巴を飛ぶ軍用飛行機に二十人は乘れる　英國に五千臺ある

既報巴里電報の傳へし倫敦巴里間の乘客輸送に用ふる大飛行機に關し笹本中佐は語る『米國では現に郵便物遞送用として飛行機を使用し大成功を收め大西洋横斷飛行の如きも現今では何人も其可能を認めてゐるから乘客輸送も近く

◆實現する　ことは想像さるる軍用飛行機には御承知の如く偵察用戰鬪用及び右記文にある投爆彈襲擊用の三種類ある其内偵察用は中型で戰鬪用は翼の幅八尺位のもある輕快な小型が喜ばれる殘る投彈襲擊用の飛行機といふのが一番大型であつて大きいのになると翼の幅が百尺以上もある、そして其大型は千二百馬力を備へてゐるから東海道線機關車の二倍の力を有し

◆積載量は　搭乘五六名の外に爆彈一噸、燃料一噸位は積める而して一時間に百哩と云ふ快速を以て五時間の航空に堪へる無線電信の設備もある爰に於て彼の空の惡魔を以て恐ろしがられた獨逸のツエッペリンは見事に此の投彈用機に征服されたのである英國は此機を五千臺位持つて居てそれに乘客を積むとすれば二千名位は樂々と乘れる』

○高いく電話の値

賣手ばかりで買手が無い

先月京城郵便局の本年度增設電話九十口の開通を見たことは既報の通りである、本年度末までには尚多少の電話を增設する豫定だと云ふことであるが近來世間の好景氣と共に電話を架設する者が非常に多くなり以前のやうに遊んだ電話が尠くなつたので買手は幾らでもあるのに賣手は一人もないと云ふ始末であるだから偶に賣物の出ると八方から

△引張り凧　直羽が生ねて飛んで了ふこんな譯で相場もなか／＼高く目下三臺の番號で二百四五十圓を稱へて居るから二臺位の番號になると三百圓内外はするのであらうと云ふ一口に電話々々と云つても馬鹿にならぬものだが夫で散々使つた揚げ句不用になれば幾ら廉くても元値には賣れ旨く行けば多少でも儲かるのだから需要である數多ある加入者の中には電話を

△抵當に入れて金を借て居る者が尠くないがその中には又何うしても返濟が出來ぬ爲め終には執達吏を差向けられ抵當にした電話の差押へを食つて居る者も少くないと云ふから面白い序に京城では内地人四戸毎に一個宛の電話を有つて居る勘定で他の都會に比らべると割合に好く行き渡つて居る方だ相な

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

◇川柳『月末』

◎月末を上手に過す樣になり（一等）　本町　鈴木篤平

▲月末に拂つてやると貰てゐり　仁川　宮崎坊

▲借錢拂はれたばなア月末　京城　ハルミラ

▲月末に來る者は持出と見れ　京城　春昭

▲月末丈は女房と懇談し　平北　許峰生

▲此月はく／＼として足らぬなり　龍山　十の字

▲月末は妻の手腕に訴へる　仁川　詩腕功

▲月末は苦い顏して外に出で　京城　心外

○日本一の中學校

◇贅澤はせぬ

百萬圓で六甲山麓に設立される甲南中學校

富豪某々氏等の經營で六甲山麓兵庫縣武庫郡本山村に規模の大きい事と基本財産の多いことに於て日本第一の稱へある甲南中學校が設立される事になり四五日の内に兵庫縣廳へ設立認可を出願する事になつた場所は

◆一樂莊　の下で敷地は一萬八百坪、今まで廣い部に入れられてゐた中等學校と雖も五千坪を超ゑてゐるのは殆ど無いと言つてよく基本金もまだ公表はされないが確な筋の談に據ると百萬圓だとの事である、創立に關係せる某氏は『幼稚園と小學校とを含む甲南學園も

◆富豪の　創立になつた物だといふので關西の學習院など、云はれてゐるが唯基本金が五萬圓餘りと職員の退隱基金が三萬五六千圓あると云ふだけで教育方針は徹頭徹尾質素で服裝の如きも小倉服以上の物は用ゐさせない、中學校は財團は別になつてゐるが同じ系統であるので一部には中學校も非常に

◆贅澤な　物を設立する如く傳へられてゐるが小學校同樣質素剛健を旨とした教育をし設備も華美を避け來春は假校舍としてバラック建を作り新校舍もバラック建と相違の無いやうな物を建てる計畫で校長は姫路中學校長、文部省督學官、靜岡市長等の經歷ある小森慶介氏である』このみ一切の計畫は公表を好まない風であるが而して此頃の中等學校は

◆教師の　缺乏に苦んでゐるが此學校だけは今春設立の議が持上つて以來就職希望者殺到し素晴らしい勢ひを示してゐるさうだ生徒數は多くも三百名以内とし甲南學園の卒業生を主として收容する筈である

炭礦商船株式會社株式募集

設立の趣旨

石炭は工業上の必須品なり猶人生營養に缺く可らざる食料の如し其價格を徒らに暴騰に委して顧みざるは戰工業をして萎縮せしむる所以にあらず、炭價の調節は實に刻下重要問題の一たり、炭價暴騰の原因は戰時工業の勃興に伴ふ需要の激增と石炭運搬能力の不備不足及び販賣仲介機關の獨占的にして配給の不秩序に歸す故に石炭配給方法を改善するは炭價調節上の最大急務なりとす本會社は此見地に於て石炭運搬の設備を整へ迅速に圓滑に直接消費者へ配給し時弊を匡正し缺陷を補充し工業界に於ける難問解決の急先鋒たらんとす

炭礦王と大船主の提携

（一）九州炭礦界の覇王たる藏内次郎作氏の經營に係る峰地、大峰岩瀨其他同氏の關係せる諸礦區の採掘石炭年額約一百万噸を一手仲買販賣し之か消費市場へ運搬配給を以て事業の基礎とし尚他礦區及び他地方に於ける石炭其他諸礦物の運搬に從事す（二）運搬設備としては運炭川船納數隻を購入し時宜に由り傭船を併用して以て石炭の組織的配給の實を擧げ（三）進んで石炭の仲買又は特約販賣を營み直接消費者への配給を行ひ以て炭價の調節に貢獻すべく（四）更に附隨要務として或は自ら石炭を採掘し或は船舶の賣買、傭船並に其仲立、其他曳船事業を兼營せんとす

資本と收益關係

資本金一千五百万圓最初四分の一拂込即ち金三百七十五万圓を以て運炭用の船舶並に曳船購入資金及運轉資金に充て運炭船及曳船の收入、傭船利益金、石炭仲買及販賣益金等最內輪の採算にして純益金二百万圓に上り（拂込資本金に對し收益率五割六分）之より十分の船價償却並修繕積立金を留保するも尚優に年三割五分の株主配當をなすの確乎たる成算を有す

本事業の特色

此の如き大資本組織を以て石炭の配給に從事するもの從來絕無なるのみならず年額壹百万噸の既得權を有し且是れが仲買及特約販賣權を併有し收益的基礎の確實安全なるを知るに足る此組織的配給は戰後に於て一層其効益を發揮すべく我國民經濟の發達に根本的交涉を有せること寔に本事業の特色として誇るに足るものと信ず

世襲財產と融通株

されば本會社の株式たるや其確實的資質に於て優に世襲財產たるの品位と眞價を有し而かも實際上諸種の貯蓄に勝れる融通性を備へ現に收支豫算に於て年參割五分の採算を示せり戰時と戰後とに通ぜる永遠の國家的大事業として何の時何の處にか果して能く之に比肩し得べき新株式の提供ありとするや

公募の理由

總株數參拾萬株の內貳拾五萬株は發起人及贊成人に於て引受け特に五萬株を分ち平價を以て一般公募に付するは是當面の問題たる石炭の組織的配給の重要を高調し大方諸君の贊同を希ふに外ならざる也

募集要項

一資本金總額　金壹千五百萬圓
一壹株の金額　金五拾圓
一募集株數　五萬株（三十万株中二十五万株は發起人贊成人に於て引受濟）
一申込證據金　一株に付金貳圓五拾錢
一申込期間　大正七年十一月廿五日より三十日迄　但し期日前と雖も兩創立事務所に限り取扱ふものとす
一申込株數單位　參拾株以上
一募入決定方法　應募株數超過の場合は發起人に於て適宜決定す
一第一回拂込株金　一株に付金拾貳圓五拾錢（證據金振替共）
一第一回拂込期限　大正七年十二月二十日限り

◎定款目論見書及申込用紙は左記取扱所並に創立事務所に備置候

創立委員長　藏內次郎作

發起人
橋本喜造　加島安治郎　伊藤忍　土岐僙　吉田增太郎　中垣保　山口文右衛門　松島肇　佐藤松垂　守屋此助
尾崎敬義　田村藤四郎　伴幸之亟　大葉久吉　吉野由太郎　上田治郎　山口恒太郎　福井甚三　佐伯四郎次　瀨川光行
原眞一　横山一平　高田良之助　藏內次郎作　山野好恭　藤野正年　三好榮次郎　鈴木久次郎
河崎助太郎　藤本清兵衛　堀田金四郎　吉田成之　恒岡秉郎　山田幸次　前田卯之助　小塚貞藏　師岡智　鈴木錠藏

贊成人
井上敬次郎　神田鏑藏　曾根正命　山田鐵雄　寺井忍
岩崎勳　柿崎欽吾　土屋寛　山本悌二郎　齋藤紀一
井田亦吉　田丸税稔　南波禮吉　松元雄介　水島重吉
入江千太郎　田中常德　日下義雄　小島長四郎　外四百七十三名

株式申込株金拂込取扱所
朝鮮京城　朝鮮商業銀行
同　百三十銀行支店
同　漢城銀行
同平壤　同支店

東京市麴町區麴町四丁目壹番地　炭礦商船株式會社創立事務所
大阪市北區堂島中壹丁目參拾九番地　炭礦商船株式會社創立事務所

母と子 (三十二)

北島春石作 森田久畫

出逢頭(一)

『そ、それでは話にも何も……』

『ならぬと思つたらサッサと歸れ！』と、直樹は一際語氣を荒らげた『猶一言だけ忠告を與へて置くが、岸上家へ嫁付いて居る頃は、一劈に當る雅巳の妻であるから、そこに親戚關係もあつたが、今日の赤保子さんと俺とはあかの他人ぢや。さうした縁も由緒もなきもの。お前とは血統の繋の切つても切れぬ親子ではないか。二十何年の間獅を育て來た以上、強い絆に結び付けられて居る筈。然るにその恩愛の絆を斷絶つて家出をしたとならば、仔としても親に不孝をなす罪は免れぬまでも、親にも又落度がないとは言はれまい。なあ、いくつになつても親は有難いもの。子は可愛きものと極つて居るに、その子が無斷で家出するからは、親が親らしからぬ行爲をしたればこそと思ふ。何うぢや、これほど言つて聞かせたら、多少は自分の胸に響くところもあらう』

『う、う、うゝむ。』と、理の當然に鑓詰められて眼を白黒、劉平は額に冷汗をにじませたが、この佳指を啣へて悄々引込みもつかず、『そんな事まで他人のお世話にはなりたくない。親の權利は絶大無限、娘を煮て食はうと燒いて食はうと此方の了簡一つ。そこでお設法は切上げ、餘計な手數をかけずと娘を渡して貰はう。』

『解らぬ奴ぢやな！俺は赤保子さんを知らぬと云ふに。』

『だが、佐久間と云ふ生きた證據がある以上、ただ知らぬ存ぜぬでは濟ましませんぞ。』

『濟まぬならぬ、勝手にせい！法律上の爭論でも腕力でも辭せんから其方の心任せにしたが宜からう。』と、徐ろに植惣を顧みて『なあ、親方もさうは思はれんかね』

『へ、さすがに學のおあんなさる仁は違つたもんでさ。』とした〻か感服した植惣は『おい、おい、蠅すべり！』と、劉平を下司扱ひに呼びかけた『お釋迦樣の說敎より有難い先生のお諫言が解つたら、脚下の明るいうちに尻尾を捲いて退散しろ！それでよ、佐久間とか云ふ野郎を代理に寄越せ。先刻のは本當の手見せだが、もう些と骨のある奴を振舞つてくれるから。』

この間は、人形町のビヤホールでお雛から愛想づかしをされ、我家へ戻れば女房に膨づくしをさられ、今朝は又この始末に、劉平は怨恨と憤慨で腦味噌を引掻廻されたやう。

俺に人並勝れた腕力があつたら二人の頸筋つかんで捻伏せ、死ぬほどの苦痛させて美事娘を廻戻すものをと及ばぬ事まで考へて猶更忌々しさが募じもしたが、その結局は、是非もなく〱引揚げる外に手段はなかつた。

兎に角は口も利かれぬ態で、二人をグッと睨みつけてゐたが、やがて、火のやうな太息と共に、

『うむ！何奴も此奴も穏ねてゐる。高橋劉平も男だ、乾度この返禮はしてくれるから。』と怨恨の一言

『何だと！』

植惣は江戸ッ子の不負魂、もう一つ姿骨のお見舞をと身構へる間もあらせず、劉平は颯と身を翻すや植込みのなかへと逃込んだ。

『あッは・・・・、あッは・・・・』

直樹と植惣が聲を揃へて嘲り笑ふを後方にして、帽子と外套を小脇へ抱へ込んだ劉平が命からがら門前まで逃げて來た擧に、何人とも知れずドシリと突當る。

『痛！これは失禮。』

『いや、此方こそ。』

出逢ひ頭の拳骨に打たれながら双方で一時に顏をあけて二度吃驚

『お、貴方は。』

『これは岸上……さんか。』

木炭の使ひ方

◇經濟な使ひ方 山林局の說明

木炭の需要期に入り値段は下つたと云へ未だ〱高値である、この際これが使用上に注意する事が大切ですから就て農商務省山林當局は左の通り說明を公表した

(一)木炭の使用に意を用ひ努めて之が節約を圖るべし

(二)木炭を製造する爲め毎年伐採する森林の面積は頗る廣大なり、現在の森林は決して豐富にあらずして、今日以上に木炭の需要を增すことは困難なり、而して木炭の大部分は家庭にて使用するものなれば、各自之が節約に務むべく全國を通じて多量節約を爲し得べし

(三)木炭貫目の目切れに注意すべし俵には萱貫する地方にては購入に方り充分貫目を吟味すること肝要なり、又貫目にて賣買する地方にては甚だしきは故意に濕炭を入れ、又濕俵を用ひ若しくは土石を混ずるものさへあり注意を要す

(四)產地より直接購入すれば格安となることあり、木炭を多量に使用し、或は共同して多量に購入する時は直接產地より購入せば格安に當る可し

(五)木炭は使用方に損得あり、木炭を昆爐に使用する場合は、一杯に木炭を入るれば火著き惡しく火力も其割合に强からず無益に使用することゝなる故七八分目に入るゝが得なり、木炭を海水又は鹽水に浸して使へば火力强く火持ち良し、木炭を使用前二三日間海水又は鹽水に浸して後、日光に乾かして使へば火著き幾分惡きも火力强く火持良し

(六)炭の適否は木炭節約上關係する所大なり、櫟炭は火持最も可なり、又灰は時々新しきものと取替ふるを良しとす

(七)木炭の屑粉は之を粗末にすべからず、木炭の屑及び粉を火鉢の中に深く埋て使用すれば火持可なり、昆爐火鉢の殘り炭は火消にするか火消壺に入れ立消へせしめざること肝要なり。

郵便に飛行機

歐米に於て

休戰條約の成立に次いで講和に到達することも速かであらう而して過般の大戰に際し交戰國は互に武器の研究をなし科學の威力を發揮したが就中飛行機の如きは

▲偉大 なる進步で平時に於ては使用し切れぬ程臺數を增加してゐる、今後是等多數の機を如何に處分するか又如何なる發展の途を講ずるかは飛行家連の考慮をしてゐる處である最近各國の飛行機臺數は佛國が五千臺英國が三千臺伊太利が一千臺米國が三萬臺獨逸が四千臺といふ

▲驚く べき數に上つてゐて此中には七百馬力の發動機を有し約二十名を搭乘して二百二十哩の距離に飛翔し得るものが澤山ある是等は平時に於て何う處分さるゝかといへば各國の意向を探るに郵便同樣に貿易、通信、觀光等に使用される事になるらしい飛行機輸送は汽車汽船よりは

▲迅速 であり費用も亦約四分の一である既に英國には昨年來倫敦巴里間を開始し佛國でも同樣であるが目下英國人間には[illegible]伯林とモスコーへまでも郵便飛行を開始するの計畫を立てゝ居るものもある更に巴里と伊太利のコルシカ島又はマルセイユとアルゼリー間との郵便試驗をしたいと云ふ米國では紐育華盛頓間及び紐育市俄古にも成功し更に北米デトロワサンダスキー間の新航路をも

▲開始 した、伊太利ではサルヂニア島とコンチ市とローマとの間に定期郵便飛行を實施し目下羅馬とチコラ間の著手中だ、又獨逸は既にハンブルグと伯林間、伯林とコユンヘン間、伯林とストラスブルク間即ち伯林を中心として斯る有樣であるから今後は軍事以外に主として此等の方面に使用さるゝ具となろうとの事である

東亞貿易大勢

九國にして差引五千九百三十一萬七千二百八十二圓の出超なるが之を前年同期に比すれば輸出は二[illegible]

[illegible]港四七、八三七(同三七、三七[illegible])▲英領印度一四一、九三二(同六[illegible])▲海峽殖民地三八、五三三(同[illegible])四二九(同一八、五一七)▲[illegible]

同期八一、八九三)▲關東州七三、九三〇(四〇、〇一九)▲香港六一七(同一、三四〇)▲英領印度二三六、〇九一(同一五二、二[illegible])(四六〇)

二(同八九二二)▲其他二七八(同一八九)

日朝俳壇

○祝四千號集句 —五の月十の日會—

○枯野の眞の旭よ勞働者ら胸が張裂け　浮碧樓

○冬になる日ざし紙を改めて貼つく　拔翔

○青空をみつめてゐる冬日がほしさ　芹郎

○はらからか繩入を著た日の濡手なき　不考郎

○冬菜畑へ賑やかに灯入をみ　烏堂

○霜月の誰彼の顏白きよろこび　戰後多望

○水仙の莖の宜しきにたくらぶさか

星流る夜空　仁川 山紫坊

星流れて新凉に移る夜空哉
蝸牛輕う消ぐ欸乃や秋凉し
紅葉させ忘らるゝ戀や婦ひ扇
草に渡る風谷ゆる朝扇哉
鯛に湖心彩る夕日かな
鯛や蔭の旅客に解く草鞋
鯛や道間へば鈴返す溪
鯛や厨覗き去る油賣
鯛や山の祖伏に春く陽
一つ冷て更けし夜學の灯哉
澄みて聞ゆ師の咳や夜學寮
夜かに瞬く市の灯しかな
物影の澄みてさやけし水の上
帆冴えて風さやかなる湖上哉
夜かに鳥語聞く朝の木立哉
句座の灯に卓上の葡萄光る
太人傷に秋透る見ゆ葡萄哉
一と顆も高嶋けご淋し秋の霜
道すがら子女が手折る野菊かな
聞捨てる鵯もなく鳥ふむ菜哉
四十雀が虎しうす庭樹かな
溫泉山晴るゝ客去る夕かな
海嘯製田の晴れや厂々
物洗ふ人に露動く河畔哉

新刊紹介

▲食物の發生(七の一一)卷頭に曰く「食は本なり病は末なり本誌は故陸軍藥劑監石塚左玄翁の創唱創設に關る正食正療の主義を遍く天下に鼓吹し以て人類生存の本義を闡明す(中略)」誌は世の識者諸家が食養辨護の論説、評論、心酔、逆ふを打破！我國祖國三千年來の食政を復古す」簡易食養法の面白き話を平易にて總ふりがなつきにて說明したるもの(十五錢東京牛込市谷町五一石塚食養所)

▲貝合源氏(鈴木釋史小說の第七集)柳亭種彦の著を總ふりがな付の活字にて翻刻したるを本集には初篇より二十篇までを納む同中原本の繪を其まゝ縮刷して諸所に挿入しあり(四十八錢東京博文館)

▲主婦の友(家政整理號)主婦の心得べき政家法を懇切に說きたる事多く之を讀みて生活難に處して得る所尠からざるべし(二十五錢東京神田區表神保町二東京家政研究會)

▲亞細亞時論(の一一)黑龍會の機關誌にして國粹擁護運動記事、時論、歷史地理、文苑、談叢、亞細亞當面の問題に對する有益なる論議記者資料等を滿載せる雜誌なり(三十錢東京赤阪溜池一 黑龍會)

▲大阪銀行通信錄(二五四)三十錢大阪中之島大阪銀行集會所

文藝 課題及び募集規定

募集規定 ▲用紙ははがき又は同形の用紙一枚毎に推敲す▲は匿名の外に住所氏名明記の事▲[illegible]

京城府告示第十四號

大正七年度京城府歲入出追加更正豫算左ノ如シ

大正七年十一月二十五日　京城府尹 金谷充

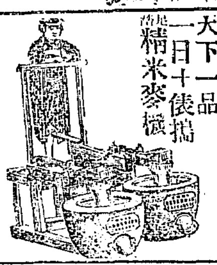
大正七年度京城府歲入出追加豫算

歲入臨時部
第二款 國庫補助金 金五千圓
第三款 地方費補助金 金五千圓
第四款 寄附金 金百五十二圓
第六款 財產賣却代 金二千七百十圓
歲入臨時部計 金二萬二千七百十圓
歲入合計 金二萬八千八百六十二圓

歲出經常部
第二款 土木費 金五千圓
經常部計 金五千圓
臨時部 金一萬三千八百六十二圓
歲出合計 金二萬八千八百六十二圓

大正七年度京城府歲入出更正豫算
歲出經常部
第十六款 豫備費 金七千九百九十八圓
經常部計 金三十三萬三千六百五十六圓
臨時部
第二款 土木費 金五萬七千七百九十六圓(下水改修費本年度支出額)
第十一款 [illegible] 額 金二十三萬四千二百二十九圓
臨時部計 金[illegible]
歲出合計 金五十六萬七千六百八十五圓

株式名義書換停止
十二月一日ヨリ定時總會終了ノ日迄
朝鮮製紙株式會社

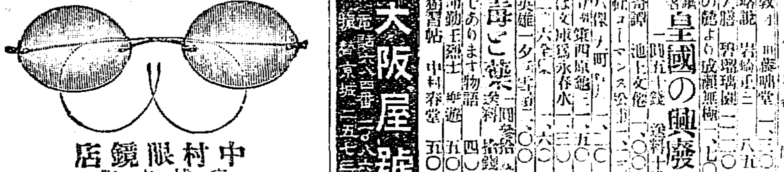


天下一品 一日十俵搗 精米麥機

本機は運轉輕快一日十俵搗精白能く[illegible] 詳細は說明書を呈す
大阪市北區[illegible]
砂川製臼所精米機部

最新刊

[illegible]教育 [illegible]
岩崎[illegible] 淨瑠璃[illegible]
[illegible]
皇國の興廢 池上文俊 送料十錢
[illegible]
毒と藥 [illegible]
東洋英雄一夕話 [illegible]
新舊[illegible]
[illegible]
中村春堂 [illegible] 習字帖
京城本町 大阪屋號 電話六四一番 振替京城一二五七



定價表進呈
中村眼鏡店
京城本町
電話壹壹七番 振替京城三四六番

京日案内

▲申込は前日[illegible]▲六回以上の御申込は[illegible]▲[illegible]一回前金[illegible]

◎乳母 一名入用 希望者は至急 龍山漢江通り十三 電話三二一番

◎[illegible] 師代診看護婦求む 福岡大學前[illegible] 九州產婆會

不用品 高價買入 黃金町三 電話一八六二 關根古物店

代診及藥局生各一名採用す 志望者は至急申込まるべし 仁川 佐藤病院

毛皮なめし仕立 鳥獸剝製 毛皮鳥毛剝製貿易商 京城本町二 電話長二〇六五番

代診生急募 [illegible] 龍山元町二丁目 小川醫院

年金恩給 [illegible] 南大門前下角 江州屋本店

店員入用 [illegible] 京城本町四 電話一四九二 精米業 佐野屋

ほねつぎ 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場

恩給 [illegible] 西村商會

砂金 [illegible] 中村分析所

眼鏡職人採用 [illegible] 喜多金次堂

求店員 [illegible]

藥局助手募集 [illegible] 仁川病院

辯護士 岩田仙宗

裁縫女入用 [illegible] 君の江

外務社員採用 [illegible] 京城支部

賣却 [illegible] 京城競賣市場

上女中入用 [illegible] 南大門通 電話一五五一番 笑福旅館

りん病 急性慢性を問はず[illegible] 林滅

ルーデサック 特製品 [illegible] 山田文殊堂藥房

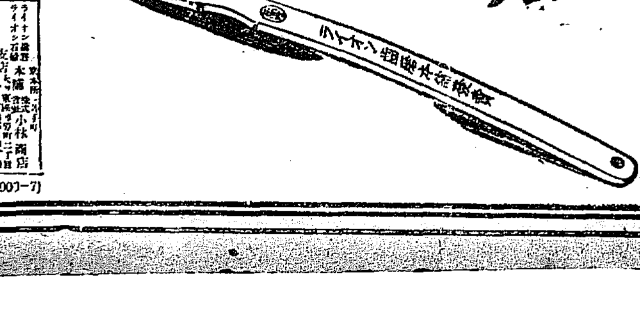
診察時間
初診の御方は可成午前中
自午前九時 至午後六時
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前)
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)
電話 一八番 二六〇番
酒井婦人病院
院長 酒井一郎

これなら大丈夫 たしかにヨク効く
醫師も推奨し實驗者も保證する
最有効强壯藥
滋養大關 次亞燐
略効 肺病 肋膜 貧血 衰弱 產後 病後 老衰 胃弱 强壯を望む人々
藥價 大 二圓 中 壹圓卅錢 小 八拾錢 試用 五拾錢
大阪東區道修町 製劑師 小西久兵衛

瀨戶外科皮膚科醫院
京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話四九八二番
(診察夜九時迄)
醫學士 瀨戶潔

ライオン齒磨
はみがき
齲齒の豫防には此二つ
粉の極こまかい、やさしい櫻色の ライオン齒磨



齒の爲最もよい、美しい形の「萬歲」齒刷子

ライオン齒磨 ライオン石鹸 發賣元 本舖 株式會社 小林商店 東京本所區 支店 大阪 名古屋
(1001-7)